

令和6年度使用小学校教科用図書  
調査報告書

4市合同調査員会

# 目 次

国	語	.....	1
国 語	( 書 写 )	.....	7
社	会	.....	13
社 会	( 地 図 )	.....	19
算	数	.....	23
理	科	.....	31
生	活	.....	39
音	楽	.....	47
図 画	工 作	.....	51
家	庭	.....	55
体 育	保 健	.....	59
英	語	.....	67
道	徳	.....	75

## 国語科

### 総合資料

発行者略称	書名	総合所見
東書	新編 新しい国語	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 単元扉では、教材や学習活動への興味関心を引き出すために大きなイラスト・図版を示し、どのように学んでいくか見通しをもてるように『学習の流れ』が提示されている。</li><li>・ 文字の習得段階でつまづきやすい特殊音節や助詞について、特別支援教育の知見を生かした指導法「多層指導モデルMIM（ミム）」が取り入れられている。</li></ul>
教出	ひろがる言葉 小学国語	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 全学年上下分冊になっており、持ち物の軽量化に配慮されている。また、新しい教科書との出会いが年に2度あり、児童の学習への期待を高める工夫がされている。</li><li>・ 巻頭の『ひろがる言葉』では、SDGsと関連のある単元がマークによって分かりやすく示されており、現代社会の問題を自らの課題として考えられる児童を育むことができるよう工夫されている。</li></ul>
光村	国語	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 全ての単元において、『問いをもとう』をきっかけとして学習が展開されており、児童自身の問いから目標へとつなげ、学習の見通しを明確にもてるように工夫されている。</li><li>・ 語彙力を豊かにするために、全教材を通して常に言葉に着目し『言葉の宝箱』などで語句を増やしていくことで、日常生活にいかせるように配慮されている。</li></ul>



## 国語科

発行者の略称	東書
書名	新編 新しい国語
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条に基づき、国語の学習を通して、自然や社会についての知識や教養、豊かな情操や道徳心を養えるよう、多様な分野から教材や題材を選定し、児童の関心や発達段階を踏まえて提示している。</p> <p>○学校教育法第21条1号に関連して、協働的な学習を通して、個々の興味や関心、ものの見方や価値観の交流を行い、多様な個性を認め合い尊重する態度を養うようにしている。</p> <p>○单元ごとに学習を通して育成する資質・能力を『言葉の力』として明確化し、段階的・系統的に配列することで、螺旋的・反復的に学習を積み重ねられるように配慮している。</p>
内容と構成	<p>○各領域の単元を「見通す」「取り組む」「振り返る」の課題解決的な3ステップの学習過程で構成し、着実に資質・能力を身に付けられるようになっている。</p> <p>○文字の習得段階でつまずきやすい特殊音節や助詞について、特別支援教育の知見を生かした指導法「多層指導モデルMIM（ミム）」が取り入れられている。</p> <p>○豊富なデジタルコンテンツを、授業や家庭学習のあらゆる場面で活用することができ、児童が自ら判断してコンテンツを利用することで個別最適な学びが実現できるように工夫されている。</p> <p>○单元扉では、教材や学習活動への興味関心を引き出すために大きなイラスト・図版を示し、どのように学んでいくか見通しをもてるように『学習の流れ』が提示されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○ページの削減・用紙の品質向上などを通して、軽量化が図られており、持ち物の重さへの配慮がなされている。</p> <p>○物語、説明文の本文の下には、5行ごとの行数字に加え、1行ごとに行を示す「・」があり、何行目かが分かりやすくなっている。</p>

## 国語科

発行者の略称	教出
書名	ひろがる言葉 小学国語
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条に関連して、学習過程において、互いの立場を尊重しながら、課題の解決に向けて意見や感想、助言を述べ合う学び合いの場を設け、「伝え合う力」の育成を図れるように配慮されている。</p> <p>○学校教育法第21条1号に関連して、自己を見つめて表現することで、自分自身を理解し、お互いを理解し合うための場として、自己表現を主眼とする「書くこと」の教材が全学年設けられている。</p> <p>○文学作品を通して、想像力や豊かな心を育む教材が選定されている。また、読書をもとに交流する読書関連単元を全学年設け、さまざまなジャンルや多様なテーマにふれ、交流することで、お互いの気持ちや考えを深め合うように意図されている。</p>
内容と構成	<p>○『学習のてびき』に4つのステップ（たしかめよう・くわしくよもう・まとめよう・つたえあおう）が示されており、児童の主体的・対話的で深い学びにつながるように構成されている。</p> <p>○巻頭の『ひろがる言葉』では、SDGsと関連のある単元がマークによって分かりやすく示されており、現代社会の問題を自らの課題として考えられる児童を育むことができるように工夫されている。</p> <p>○児童の語彙力を豊かにするために、単元ごとに『言葉を増やそう』が掲載されている。</p> <p>○年間を通して読書に親しむ機会を保障するために、上巻には学校図書を計画的に利用する「情報図書教材」、下巻には図書の紹介を中心とした「交流読書教材」が掲載されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○全学年上下分冊になっており、児童の持ち物の軽量化に配慮されている。また、新しい教科書に出会う機会が1年に2度あることで、学習に対する児童の期待を高める工夫がされている。</p> <p>○領域ごとにテーマカラーやマークが設定されており、「何を学ぶのか」を視覚的にも捉えることができるように構成されている。</p>

## 国語科

発行者の略称	光村
書名	国語
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条に関連して、一人ひとりが個性を生かして主体的に学習活動に取り組み、互いに認め合いながら、学習することの喜びや達成感が得られるように配慮されている。</p> <p>○学校教育法第21条1号に関連して、課題解決に向けて協力し合ったり助言しあったりする体験を通して、コミュニケーション能力を育成するように教材化の工夫がされている。</p> <p>○学習指導要領の「学習過程の明確化、「考えの形成」の重視」を踏まえ、各領域の学習過程に沿って、課題が整理されており、学び方が一目でわかるように提示されている。</p>
内容と構成	<p>○語彙力を豊かにするために、全教材を通して常に言葉に着目し『言葉の宝箱』などで語句を増やしていくことで、日常生活にいかせるように配慮されている。</p> <p>○伝統や文化に関する教育の充実について言語文化を尊重し、継承・発展させようとする態度を育成できるよう、昔話や俳句、短歌、古典文化に加え、ことわざや伝統芸能等、さまざまな言語文化に触れる機会が用意されている。</p> <p>○全ての単元において、『問いをもとう』をきっかけとして学習が展開されており、児童自身の問いから目標へとつなげ、学習の見通しを明確にもてるように工夫されている。</p> <p>○情報の扱いについて、情報と情報との関係や情報の収集・整理の教材を用意し、巻末折り込みにおいて思考ツールの使い方を提示する等、日常の情報活用能力が育めるように工夫されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○書き文字に近い独自の教科書体が用いられており、正しい字形を意識させることができ、文字指導に効果的な工夫がされている。</p> <p>○巻頭の『国語の学びを見わたそう』のページが他のページよりも幅が狭くなっており、開きやすく、見返しやすい仕様になっている。</p>





## 国語科（書写）

### 総合資料

発行者略称	書名	総合所見
東書	新編 新しい書写	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「知識・技能」を習得するために、見開きで指導内容がまとめられており、全学年を通して『書写のかぎ』として学習のポイントが提示されている。</li> <li>・『生活に広げよう』『学びを生かそう』が構成され、日常生活に生かしたり、他教科と関連させたりする活動が取り上げられている。</li> </ul>
教出	小学 書写	<ul style="list-style-type: none"> <li>・習得した書写の能力を各教科等の学習活動や日常生活に生かすために、『レッツ・トライ』により具体的な場面が提示されている。</li> <li>・学習の進め方を4段階で表記し、児童が毎時間自ら見通しをもって取り組むことができるように工夫されている。</li> </ul>
光村	書写	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『ねらい』『たいせつ』『学習の進め方』が表記されており、二次元コードですぐ確認しながら、児童が主体的に学ぶための工夫がされている。</li> <li>・『書写広げたい』で他教科と関連しながら、SDGsや防災等を意識した日常に生きる学習の工夫が多くされている。</li> </ul>



## 国語科（書写）

発行者の略称	東書
書名	新編 新しい書写
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法に示されている「資質・能力」に関連して、「知識・技能」を習得するために、『書写のかぎ』として文字を整えて書くための大事なポイントがまとめられており、分かりやすく学習できるよう配慮されている。</p> <p>○「学びに向かう力・人間性」を涵養するために、日常生活や学校生活に生かせる教材を取り上げる等の工夫がされている。</p>
内容と構成	<p>○知識・技能を習得するために、見開きで指導内容がまとめられており、全学年を通して『書写のかぎ』として学習のポイントが提示されている。</p> <p>○『生活に広げよう』『学びを生かそう』が構成され、日常生活に生かしたり、他教科と関連させたりする活動が取り上げられている。</p> <p>○『文字といっしょに』では、日本の伝統文化と関連させた内容が構成されている。</p> <p>○デジタルコンテンツやクイズ形式があることで、児童が興味関心をもって学習に取り組むことができる工夫がされている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○左利き児童の基本的な鉛筆の持ち方や用具の置き方などが、分かりやすく示されている。</p> <p>○全ての児童にとって学びやすくするために、専門家の監修のもとユニバーサルデザインフォントが採用されている。また、カラーの写真が多く、配色も全ての児童が見やすい工夫がされている。</p>

## 国語科（書写）

発行者の略称	教出
書名	小学 書写
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法に示されている「資質・能力」に関連して、「適切に運筆するための能力」の育成について、筆記用具の持ち方と良い姿勢の習得について注力されている。</p> <p>○学習指導要領に示されている「各教科等の学習活動や日常生活に生かすことのできる書写の能力を育成すること」を目指して、『レッツ・トライ』により各教科と関連した学習ができるように工夫されている。</p>
内容と構成	<p>○人権教育に関連して、イラストや図版、人権に関係する言葉を書くことなどで人権に対する配慮がされている。</p> <p>○学習の進め方を『つかむ・考える、書く・たしかめる、ふり返る、生かす・広げる』の4段階とし、児童が見通しをもって取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○文字や書く力について、歴史やICT機器など様々な分野で興味や関心をもつことができるよう構成されている。</p> <p>○学習の導入やコラムなどが漫画形式で、児童が興味を持ちやすい工夫がされている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○全ての児童にとって学びやすくするために、ユニバーサルデザインフォントが採用されている。</p> <p>○筆使いを指導する際に、支援が必要な児童や左利きの児童にも伝わりやすい言葉が表記されている。</p>

## 国語科（書写）

発行者の略称	光村
書名	書写
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法に示されている「資質・能力」に関連して、「知識・技能」を習得するために、『たいせつ』として文字を整えて書くための知識・技能が児童に分かりやすく提示されている。</p> <p>○「思考力・判断力・表現力」を育成するために、『書写広げたい』により書写で学習したことや他教科、日常生活との関連が図られている。</p>
内容と構成	<p>○『しよしゃたいそう』や『しよしゃすたーとぶっく』などによる児童が関心を持ちやすい導入や学習のねらい、学習の進め方が表記され、児童が主体的に学ぶ工夫がされている。</p> <p>○筆使いを説明する動画で、上と斜めの2つの方向から書く様子を客観的に見ることができ、多面的・多角的に筆使いを確認できる工夫がされている。</p> <p>○二次元コードによるICTを活用した学習が豊富で、SDGsや防災に関連した学習内容も採用されている。</p> <p>○学年に応じた物語や詩、俳句、ことわざなどを味わうことができる単元については、国語との関連が図られている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○文字や図表などに複数の色を用いる場合、全ての児童が明確に識別できるよう専門家の校閲による色の組み合わせが配慮されている。</p> <p>○単元名や教材名、『たいせつ』など児童の学びにとって重要な文字にはユニバーサルデザイン書体が用いられている。</p>



## 社会科

### 総合資料

発行者略称	書名	総合所見
東書	新編 新しい社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1人1台端末の活用を想定して、多様なデジタルコンテンツを掲載し、個別学習や協同学習などの様々な場面で活用できるようになっている。</li> <li>・ デジタルコンテンツを充実させることで、教科書の内容を堅持しながら、児童の重量負担にも配慮した内容になっている。</li> <li>・ 教育基本法第2条に関連して、『学習の進め方』や『まなび方コーナー』を提示し、主体的に問題解決的な学習を進めることや、基礎的・基本的な技能が定着できるよう配慮されている。</li> </ul>
教出	小学社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育基本法第2条4号と関連して、学習をSDGsの視点から振り返るなど、環境の保全に寄与する態度を養えるようになっている。</li> <li>・ 神奈川県を題材とした教材が多く掲載されており、児童の興味関心を高められるようなカリキュラム編成が可能になっている。</li> <li>・ 社会的な見方・考え方を働かせた学びを促すために、ヒントとなるキーワードを太字で提示したり、キャラクターの吹き出しを随所に用いたりして児童が気付きやすい工夫がされている。</li> </ul>
日文	小学社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習指導要領に示された「社会的な見方・考え方」を育む為に、社会的な見方・考え方の3つの視点（空間、時間、相互関係）と方法をより具体的に示す『見方・考え方コーナー』が設けられている。</li> <li>・ 児童の理解が深まる構成について、問題解決的な学習が展開できるように図を用いて分かりやすく提示されるとともに、個別最適な学びを支えるワークシート等のデジタルコンテンツが多数用意されている。</li> <li>・ SDGsを通して、日本や世界で見られる諸課題への意識を高められるように、『考えよう！SDGsコーナー』が32カ所設けられている。</li> </ul>





## 社会科

発行者の略称	東書
書名	新編 新しい社会
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条に関連して、『学習の進め方』や『まなび方コーナー』を提示し、主体的に問題解決的な学習を進めることや、基礎的・基本的な技能が定着できるよう配慮されている。</p> <p>○学習指導要領に示された「社会的な見方・考え方」に関連して、「空間」「時間」「相互関係」の3つの視点と考え方を働かせることにより深い学びが実現できるよう工夫されている。</p> <p>○学習指導要領の各学年の「内容の取扱い」に「選択・判断」と示されている箇所を中心に『いかす』を提示し、社会的な事柄に参画したり、提案・発信したりする学習場面が設けられている。</p>
内容と構成	<p>○1人1台端末の活用を想定して、多様なデジタルコンテンツを掲載し、個別学習や協同学習などの様々な場面で活用できるようになっている。</p> <p>○問題解決的な学習の進め方ができるように、『つかむ』『調べる』『まとめる』『いかす』の4つで構成され、左ページ側注にわかりやすく明示されている。</p> <p>○SDGsや主権者教育など、今日的課題について児童が主体的、多面的・多角的に考察できるように各学年で積極的に取り上げられている。</p> <p>○児童も先生も教科書のつくりをわかりやすく確認できるように各学年の冒頭に『この教科書のつくりを見てみよう』が示されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○デジタルコンテンツを充実させることで、教科書の内容を堅持しながら、児童の重量負担にも配慮した内容になっている。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを使用し、児童が読みやすい大きさの文字になっている。</p> <p>○ドラえもんのキャラクターを随所に用いて、児童に親しみやすい工夫がされており、全学年で学んだことや当該学年で学ぶことを、大まかにつかむことができるよう工夫されている。</p>

## 社会科

発行者の略称	教出
書名	小学社会
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○学習指導要領社会科の目標と関連して、問いから学びにつなげる展開を重視し、「学びに向かう力、人間性等」の育成や「社会的な見方・考え方」を働かせた学びを実現できるように配慮されている。</p> <p>○教育基本法第2条2号と関連して、実際に社会で活躍する多様な人物を取材し、教科と社会とのかかわりのなかで、自己を成長させ社会に貢献する力を育てる構成になっている。</p> <p>○教育基本法第2条4号と関連して、学習をSDGsの視点から振り返るなど、環境の保全に寄与する態度を養えるようになっている。</p>
内容と構成	<p>○児童の問いを中心に学習を展開できるように『つかむ』『調べる』『まとめる』『つなげる』の問題解決的な学習の流れが視覚的にわかるようにインデックスで示されている。</p> <p>○神奈川県を題材とした教材が多く掲載されており、児童の興味関心を高められるようなカリキュラム編成が可能になっている。</p> <p>○より児童の関心・意欲が高まるように白黒写真をカラー化したり、デジタルコンテンツを多く導入したりすることで、主体的学習に活かせる教材となっている。</p> <p>○社会で活躍している多様な人物を取材し、その思いに触れながら、臨場感豊かに紹介することで、多様な見方・考え方に触れた学習ができるようになっている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○より多くの児童に見やすい「UDデジタル教科書体」を本文で使用し、色覚の個人差に配慮した「カラーユニバーサルデザイン」に基づいて配色されている。</p> <p>○社会的な見方・考え方を働かせた学びを促すために、ヒントとなるキーワードを太字で提示したり、キャラクターの吹き出しを随所に用いたりして児童が気づきやすい工夫がされている。</p> <p>○年間を通してフレキシブルな活用ができ、柔軟なカリキュラム編成を可能にするため、学年1冊にまとめられている。</p>

## 社会科

発行者の略称	日文
書名	小学社会
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条に関連して、学習や生活の基盤となる知識を繰り返し使ったり、地図帳で調べたり、作業したりできるよう、『やってみようコーナー』や『学び方・調べ方コーナー』が設定され、基礎的・基本的な技能が定着できるよう配慮されている。</p> <p>○学習指導要領に示された「学びに向かう力・人間性等」の育成が実現できるように、『さらに考えたい問題』について資料などを用いて掘り下げて追及できるように設定されている。</p> <p>○学習指導要領に示された「社会的な見方・考え方」を育む為に、社会的な見方・考え方の3つの視点（空間、時間、相互関係）と方法をより具体的に示す『見方・考え方コーナー』が設けられている。</p>
内容と構成	<p>○他教科や他校種との連携を図り、カリキュラム・マネジメントにも役立つさまざまな紙面が設けられている。</p> <p>○情報活用能力の育成について、多種多様な情報を集め、効果的に活用することで知識・技能の育成を図る教材が設定されている。</p> <p>○児童の理解が深まる構成について、問題解決的な学習が展開できるように図を用いて分かりやすく提示されているとともに、個別最適な学びを支えるワークシート等のデジタルコンテンツが多数用意されている。</p> <p>○SDGsを通して、日本や世界で見られる諸課題への意識を高められるように、『考えよう！SDGsコーナー』が32カ所設けられている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○キャラクターの発言が吹き出しで表記されており、児童がより学習イメージをふくらませることができるようになっている。</p> <p>○社会科の学習にとって大切な用語はキーワードで示され、本文中で対応する箇所の文字がゴシック体で表されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインに配慮した紙面で、すべての児童が情報を読み取ることができるようになっている。</p>



## 社会科（地図）

### 総合資料

発行者略称	書名	総合所見
東書	新しい地図帳	<ul style="list-style-type: none"> <li>○世界地図の中に国名が日本語表記と英語表記を併用することで、国際理解につながる工夫がされている。</li> <li>○冒頭の日本のイラストマップで、日本の建造物や食文化、名産品などを紹介し、児童の意欲を喚起する内容になっている。</li> <li>○地図中の文字や記号が大きく、丸ゴシックのフォントは太さの違いが少なく、読みやすい表記となっている。</li> <li>○紙質がしっかりしていて滑らかでめくりやすくなっている。</li> </ul>
帝国	楽しく学ぶ 小学生の地図帳	<ul style="list-style-type: none"> <li>○町を斜め上から、真上から、航空写真など、いろいろな見方で地図が表現されており、楽しく地図に親しめるようになっている。</li> <li>○二次元コードを活用して、1人1台端末などでコンテンツの利用ができ、児童の学習意欲の向上につながるよう工夫されている。</li> <li>○記載内容を精選し、大きなイラストを多数掲載して、楽しく親しみやすい地図表現になっている。</li> <li>○外国の地図は、国ごとの色分けがされていて、分かりやすくなっている。</li> </ul>



## 社会科（地図）

発行者の略称	東京書籍
書名	新しい地図帳
教育基本法・学校教 育法及び学習指導 要領等との関連	<p>○教育基本法第2条1号に関連して、地球儀の効果的な活用が詳しく記載されており、国土に対する地理的理解を深める学習へつながるつくりになっている。</p> <p>○我が国の歴史や伝統・文化に関する内容が充実している。</p>
内容と構成	<p>○歴史の学習時に活用できる資料が、豊富に記載されている。</p> <p>○世界地図の中に国名が日本語表記と英語表記を併用することで、国際理解につながる工夫がされている。</p> <p>○冒頭の日本のイラストマップで、日本の建造物や食文化、名産品などを紹介し、児童の意欲を喚起する内容になっている。</p> <p>○等高線を細かく分けたり、地図上に路線名・主要道路名などの情報を載せたりするなど、より細かな情報を得ることができるように工夫されている。</p> <p>○各ページの地図の中に写真や図、航空写真などが掲載されており、児童にとって目に触れる機会が少ないものに触れられる内容になっている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○地図中の文字や記号が大きく、丸ゴシックのフォントは太さの違いが少なく、読みやすい表記となっている。</p> <p>○紙質がしっかりしていて滑らかでめくりやすくなっている。</p> <p>○明るくくっきりとした色使いや、反射を抑えた目に優しい用紙が使用されている。</p>

## 社会科（地図）

発行者の略称	帝国
書名	楽しく学ぶ 小学生の地図帳
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条2号に関連して、児童が主体的に地図帳を活用する中で、地図活用の技能や「社会的な見方・考え方」の育成につながる問い『地図マスターへの道』が設定されている。</p> <p>○教育基本法第2条3号に関連して、インクルーシブ教育に配慮し、手話による都道府県名の表し方を紹介したコーナーがある。</p>
内容と構成	<p>○防災や災害についての資料が、写真や図、イラストなどで分かりやすく、豊富に記載されている。</p> <p>○最初に、地図の見方を詳しく説明しているため、学年の実態に応じた指導ができるように工夫されている。</p> <p>○町を斜め上から、真上から、航空写真など、いろいろな見方で地図が表現されており、楽しく地図に親しめるようになっている。</p> <p>○二次元コードを活用して、1人1台端末などでコンテンツの利用ができ、児童の学習意欲の向上につながるよう工夫されている。</p> <p>○日本国内の海拔や領土、先端に位置する島々を示す図解があり、学習に生かしやすい内容となっている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○地名表記の強弱がはっきりしていて、分かりやすいつくりになっている。</p> <p>○記載内容を精選し、大きなイラストを多数掲載して、楽しく親しみやすい地図表現になっている。</p> <p>○外国の地図は、国ごとの色分けがされていて、分かりやすくなっている。</p>



## 算数科

### 総合資料

発行者略称	書名	総合所見
東書	新編 新しい算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育基本法第1章第2条に基づき、算数の学習を通して課題を解決していく考える力を身につけさせるため、既習事項との繋がりや発展的、創造的な課題の提示などに対して配慮がされている。</li> <li>・第1学年のA4版別冊が付くなど、具体物を実際に操作できる学習場面が多数掲載され、数の概念の定着を図る工夫がなされている。</li> </ul>
大日本	新版 たのしい算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かながわ教育ビジョンとの関連では、巻頭で問題解決学習の流れを示し、対話を通して学びを深めることができる展開やペア・グループ学習など意見交換の方法が例示されている。</li> <li>・全体的に落ち着いた色を採用するとともに、その学年で習う漢字は最終ページまでルビ振りを行うなど、様全ての児童が読むことを想定した表記となっている。</li> </ul>
学図	みんなと学ぶ 小学校 算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領で示された「数学的な見方・考え方」を『考え方モンスター』としてキャラクター化することで、覚えやすく使いやすい形式になっている。</li> <li>・数量の関係を整理する際、数直線に加え4マス関係表での整理の仕方についても記載があり、複数の方法で数量関係を捉え、児童が自分に合った方法で活用できるよう工夫されている。</li> </ul>
教出	小学算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年に授業開きの特設教材が設定され、児童が学習の進め方や対話の仕方を共有し、学びに向かう力を育成する工夫がされている。</li> <li>・日常生活から問題を見出す場面と算数の学習から問題を見出す場面をバランスよく設定されている。モジュール授業等の10～15分の短時間学習にも対応できるよう構成されている。</li> </ul>

啓林館	わくわく算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数直線図が系統的に扱われているとともに、関係図での整理の仕方についても記載され、複数の方法で数量関係を捉えられるよう工夫されている。</li> <li>・教科書の主問題全ての解説動画が 973 あり、学び直しや自主学習に役立てられる。単にプログラミングの技能を高めるだけでなく、数学的な学びが得られるようなコンテンツが工夫されている。</li> </ul>
日文	小学算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二次元コードの上に『練習』など内容を示し、どんなコンテンツか分かりやすくなっている。全学年に『レッツプログラミング』のページがある。</li> <li>・学習を発展させる内容が取り上げられている。また、自学自習に対応しており、学習内容の難易度が3段階に分けられ、児童の学習状況や学級の実態に応じて活用できるよう工夫されている。</li> </ul>

## 算数科

発行者の略称	東書
書名	新編 新しい算数
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第1章第2条に基づき、算数の学習を通して課題を解決していく考える力を身につけさせるため、既習事項との繋がりや発展的、創造的な課題の提示などに対して配慮がされている。</p> <p>○学習指導要領で示された「数学的な見方・考え方」について、学習のゴールで言語化して価値づけ、既習事項の統合や発展的な考察を示唆できる工夫がされている。</p> <p>○かながわ教育ビジョンとの関連では、対話を通して単元全体の課題を見出したり、単元末において、単元の学習を対話を通して総括する活動を示唆したりするなど、対話重視の構成になっている。</p>
内容と構成	<p>○既習事項を生かして児童の自力解決を促し、補助発問により発展的に学びをつなぎ、学習内容を確実に習得、定着できるよう工夫されている。</p> <p>○第1学年のA4版別冊が付くなど、具体物を実際に操作できる学習場面が多数掲載され、数の概念の定着を図る工夫がなされている。</p> <p>○加減計算の図解や、乗除の演算構造図として用いられる数直線の図は、段階的に抽象化し第2～6学年で一貫して提示されている。</p> <p>○デジタルコンテンツが1450以上ある。第4学年以上でプログラミングが体験できる。第2学年以降は練習問題をデジタルコンテンツ化し、正誤判定と結果の記録ができるようになっている。</p> <p>○カリキュラムマネジメントの視点から15分単位での活用ができるように工夫されている。他教科との関連が明示されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○内容を厳選し見やすい紙面を意識して作成されている。また、書き込みながら学習を進めることや、二次元コードを使ってデジタルコンテンツを利用することができるようになっている。</p> <p>○写真を多く採用し、生活の中で学んだことを生かしていくことができるようになっている。イラストを使用する場面では、重要な箇所が強調されたり色が統一されたりするなど配慮されている。</p>

## 算数科

発行者の略称	大日本
書名	新版 たのしい算数
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第1章第2条に基づき、算数の学習を通して理解できる喜びや達成感を味わいながら学ぶ楽しさを実感させるため、単元導入時の工夫や他教科との関連性提示に対して配慮がされている。</p> <p>○学習指導要領で示された「数学的な見方・考え方」を巻頭の『算数の大切な考え方』で紹介し、キャラクターを用い『ひらめきアイテム』として設定されている。</p> <p>○かながわ教育ビジョンとの関連では、巻頭で問題解決学習の流れを示し、対話を通して学びを深めることができる展開やペア・グループ学習など、意見交換の方法が例示されている。</p>
内容と構成	<p>○習熟度に関係なく児童が『たしかめ問題』に取り組みやすくし、児童自身で振り返りができるようにするなど個の学びに対応した内容になっている。</p> <p>○第1学年にA4版別冊がつき、実際に書き込んだりブロックを置いたりして学習することで数の概念の定着を図る工夫がなされている。</p> <p>○方眼マスで図が示されている。演算決定では数直線で考えたり整数に置き換えて考えたりする方法が示されている。</p> <p>○合計1445のデジタルコンテンツがある。第2学年以降1人1台端末を使わなくても教科書に書き込んでプログラミング的思考の育成を図っている。問題解決学習の指導に沿った展開になっている。</p> <p>○身の回りから算数を探したり、算数を活用したりする活動を通して算数の有用性を感じさせるよう工夫されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○全体的に落ち着いた色を採用するとともに、その学年で習う漢字は最終ページまでルビ振りを行うなど、全ての児童が読むことを想定した表記となっている。</p> <p>○発展的な情報を載せたり、繋がりのある前の学習ページを記載したりするようにして、系統的に学んでいくことができるよう配慮されている。</p>

## 算数科

発行者の略称	学図
書名	みんなと学ぶ 小学校 算数
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第1章第2条に基づき、算数の学習を通して他者と協働していくスキルや態度を養うため、自分の考えを作りそれを伝え合ったり理解し合ったりする活動に対して配慮がされている。</p> <p>○学習指導要領で示された「数学的な見方・考え方」を『考え方モンスター』としてキャラクター化することで、覚えやすく使いやすい形式になっている。</p> <p>○かながわ教育ビジョンとの関連では、複数人数で話し合っているイラストを示している。また、多様な考えや表し方、求め方を示し、他者の考えを理解し、認めることができるようになっている。</p>
内容と構成	<p>○『算数パトロール隊』で児童がつまずきやすい内容を確認できるような工夫がなされている。</p> <p>○数量の関係を整理する際、数直線に加え4マス関係表での整理の仕方についても記載があり、複数の方法で数量関係を捉えられるよう工夫されている。</p> <p>○図の指導が系統的に扱われている。</p> <p>○全学年にプログラミング的思考に触れるページがある。第1、第3学年には、PCを使わなくても繰り返し体験できるように、切り取って使える付録がつけられている。</p> <p>○単元の配列においては、他教科での利用性の高いものから早期に学習できるよう配列されている。自学自習に対応して教科書での学び方が示されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○教科書の横幅を大きくし、紙面に余裕を持たせることで高学年になっても文字の圧迫感が出ないようにするとともに、イラストを使い過ぎず、適切な場面で採用するなど配慮されている。</p> <p>○前の学習や後につながる学習が、目次に記載され、児童が楽しんで学べる工夫が随所に見られる。さらに、系統的かつ興味関心をもって学んでいくことができるよう配慮されている。</p>

## 算数科

発行者の略称	教出
書名	小学算数
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第1章第2条に基づき、児童一人ひとりの算数の学びを充実させるため、教科横断的に取り組む課題の提示や幼小、小中の接続、連携など様々な教育課題への対応することができるよう配慮がされている。</p> <p>○学習指導要領で示された「数学的な見方・考え方」を顕在化し、繰り返して用いることを意識づけ、課題を解決したり探求したりする際の手段となるよう工夫されている。</p> <p>○かながわ教育ビジョンとの関連では、図や式を相互に関連させながら、言語活動を通して数学的に考えたり、表現したりする力をつけていけるような構成になっている。</p>
内容と構成	<p>○巻頭と巻末に既習事項の一覧を掲載することで児童自ら振り返りができるようにし、視覚的にも理解が深められるようになっている。</p> <p>○各学年の年度当初に『算数が好きになる はじめの一步』という特設教材が設定され、児童が学習の進め方や対話の仕方を共有し、学びに向かう力を育成する工夫がされている。</p> <p>○図の使い方を学習する単元を設けている。</p> <p>○全学年で操作が簡単な独自開発のプログラミング教材や表計算ソフトを取り入れ、1人1台端末の活用につながる工夫がされている。</p> <p>○日常生活から問題を見出す場面と算数の学習から問題を見出す場面をバランスよく設定されている。モジュール授業等の10～15分の短時間学習にも対応できるよう構成されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○文字の分量が多くなりすぎないようにするとともに、学んだことが分かるよう色分けや色枠を使い、全体的に紙面に余裕をもたせるなど見やすくなるよう配慮されている。</p> <p>○他学年との繋がりを明記している。カラーユニバーサルデザインを採用し、振り返りは顔マークに色を塗るだけでできるようにするなど、視覚的に配慮されている。</p>

## 算数科

発行者の略称	啓林館
書名	わくわく 算数
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第1章第2条に基づき、算数の学習を通して未来を主体的に生き抜いていくための力を養うため、算数を深く理解する学習とICTを有効的に使う学習とのバランスに配慮がされている。</p> <p>○学習指導要領で示された「数学的な見方・考え方」を働かせられるように、価値づけたい内容にはマーカーを付して強調されている。</p> <p>○かながわ教育ビジョンとの関連では、日常の事象や既習内容をベースに主問題が設定されている。また、「めあて」につながる児童の問いや気づきを『めばえ』として提示し、課題発見の動きも見えるようになっている。</p>
内容と構成	<p>○スモールステップの段階を踏んで、具体的操作や、筆算の型が丁寧に示されている。</p> <p>○第1学年にA4版の別冊があり実際に書き込むことやブロックを置いて学習することで、数の概念の定着を図る工夫がなされている。</p> <p>○数直線図が系統的に扱われ、関係図の書き方については、巻末で扱われている。</p> <p>○教科書の主問題全ての解説動画が973あり、学び直しや自主学習に役立てられる。単にプログラミングの技能を高めるだけでなく、数学的な学びが得られるようなコンテンツが工夫されている。</p> <p>○『学びをいかそう』は新しく学んだことが算数や生活につなげられるよう『ふりかえり』のあとにすぐ配置されている。また、算数の学びや考え方を活かすことのできる仕事の紹介もされている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○文字数や問題数を適度な量とするとともに、外国に繋がりのある児童も読むことができるよう多様な言語に対応した教科書を準備し、誰もが無理なく学ぶことができるよう配慮されている。</p> <p>○イラストを多く使ったり具体物操作時の手の動きをつけたりしている。また、見開き1ページで授業が完結するように工夫されており、学びの区切りをつけやすいよう配慮されている。</p>

## 算数科

発行者の略称	日文
書名	小学算数
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第1章第2条に基づき、算数の学習を通して現代的な諸課題に対して主体的に取り組んでいくスキルや態度を養うため、取り上げる課題に対して配慮がされている。</p> <p>○学習指導要領で示された「数学的な見方・考え方」を働かせるように、紙面の目立つ場所に『見方・考え方』として配置し、考える着眼点になるようになっている。</p> <p>○かながわ教育ビジョンとの関連では、多様な考えが出てきそうな場面に、『自分でみんなで』の記述が設けられており、他者との話し合いを通してよりよい考えを作り上げていく手順などが紹介されている。</p>
内容と構成	<p>○既習事項を押さえたり、学習した型を示したりするなど、繋がりを大切にした単元構成になっている。</p> <p>○巻末に数量の関係を整理するための図や数直線の見方や書き方が記載されており、いつでも確認できるよう工夫されている。</p> <p>○言葉、数、式、図など数学的な表現の相互関連を整理する内容や、図のよみ方、書き方について系統的に扱われている。</p> <p>○二次元コードの上に『練習』など内容を示し、どの様なコンテンツか分かりやすくなっている。全学年に『レッツプログラミング』のページが掲載されている。</p> <p>○学習を発展させる内容が取り上げられている。また、自学自習に対応しており、学習内容の難易度が3段階に分けられている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○必要な情報を選んで記載したり、文節を考えながら改行したりするとともに、教科書が厚くなる高学年教科書ではしおり紐を採用して、読みやすくなるよう配慮されている。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインを採用したり、単元や内容に関する色分けや具体物操作の際の手の動きをつけたりしており、見やすく理解しやすくなるよう配慮されている。</p>



## 理科

### 総合資料

発行者略称	書名	総合所見
東書	新編 新しい理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育基本法第2条に示されている「主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと」に関連し、全ての単元導入に課題をつかむための活動『レッツトライ』を設定し、対話を通して思考を広げたり、合意形成をしたりできるように工夫されている。</li> <li>・巻末の資料では、書く・話す、深める、観察、実験の4つの観点でまとめられており、必要な時にすぐ調べられるようになっている。</li> </ul>
大日本	新版 たのしい理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『りかのたまてばこ』『Science World』を多数掲載することで、児童の知的好奇心に応えるとともに、知識と教養を高められるよう工夫されている。</li> <li>・文節単位での改行、全面的なユニバーサルデザインフォントを使用し、カラーユニバーサルデザインを踏まえた配色などの工夫を行うことで、児童の学習上の困難さに配慮している。</li> </ul>
学図	みんなと学ぶ 小学校 理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育基本法第2条に示されている「勤労を重んずる態度を養うこと」に関連して、学習内容と関わる暮らしや仕事の紹介を通して、理科の有用性を実感できるよう配慮されている。</li> <li>・各学年における教材や観察、実験などの活動時間の分量が精選されており、標準授業時数内の学習で体験を重視しつつ、学習の深まりや発展、ものづくりなど多様な学習につなげるゆとりがある。</li> </ul>
教出	未来をひらく 小学理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年の巻頭に、『自分たちの考えを伝えあい、学び合おう』を設け、自分の考えを伝え、相手の考えを聞くことの大切さを示している。また、『算数とのつながり』が明示され、他教科との関連が図れるように工夫されている。</li> <li>・各学年の観察、実験で注意すべき器具や薬品の使い方などの主な具体的事項を『理科の安全の手引き』として掲載し、いつでも安全に留意して学習を進めることができるよう工夫されている。</li> </ul>

啓林館	わくわく理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二次元コードやインタラクティブコンテンツなどの多様なコンテンツが用意され、1人1台端末のICT環境を効果的に教科の学びに活用できるよう工夫されている。</li> <li>・学習指導要領で示された「見通しをもって観察・実験を行うこと」に関連して、問題解決の流れを見える化した『学びのサイクルライン』では、図や写真を用いてわかりやすく示すことで、児童が見通しを持って、自ら観察・実験が行えるよう工夫されている。</li> </ul>
-----	--------	--

## 理科

発行者の略称	東書
書名	新編 新しい理科
教育基本法・学校教 育法及び学習指導 要領等との関連	<p>○教育基本法第2条に示されている「主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと」に関連し、全ての単元導入に課題をつかむための活動『レッツトライ』を設定し、対話を通して思考を広げたり、合意形成をしたりできるように工夫されている。</p> <p>○教育基本法第2条に示されている「伝統と文化を尊重」「他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う」に関連し、『こんなところにも！理科の世界探検部』では、日本の伝統・文化の重要性や国際社会とのつながりを意識した内容が掲載されている。</p>
内容と構成	<p>○理科の学び方として学びのライン『①問題をつかむ②調べる③まとめる・広げる』を毎単元示すことで、児童の思考に沿いながら自ら見いだした問題を解き明かしていくことができ、科学的思考を育むことができる構成になっている。</p> <p>○単元のはじめに『学ぶ前に』、単元末に『学んだ後に』を掲載することで、学習前後での自身の学びについて振り返ることができる構成になっている。</p> <p>○巻末の資料では、書く・話す、深める、観察、実験の4つの観点でまとめられており、必要な時にすぐ調べられるようになっている。</p> <p>○単元末に『ふりかえろう』が掲載されており、学んだことを児童自らがまとめる学習活動をすることで、知識の定着や思考力の育成をより一層図ることができるよう工夫されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○A4判の紙面で十分な分量かつ、全ての児童が見やすく読み間違えにくいように、色覚特性に適応したデザインやUDフォントを用いた表記となっている。</p> <p>○単元の導入やまとめのページの文字にすべてルビふりをし、全ての児童にとって学びやすいよう配慮がされている。</p>

## 理科

発行者の略称	大日本
書名	新版 たのしい理科
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条「幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い」に関連し、『Science World』において、系統性を意識した発展内容があり、学んだことを自然の事物・現象や日常生活にあてはめられるように配慮されている。</p> <p>○教育基本法第2条「生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと」に関連し、生物教材において、「いのちの大切さ」についての意識が強くもてるような写真が掲載されており、生物や自然に対する情操を養うように工夫されている。</p>
内容と構成	<p>○『りかのたまてばこ』『Science World』を多数掲載することで、児童の知的好奇心に応えるとともに、知識と教養を高められるよう工夫されている。</p> <p>○単元末に『これまでに学んだことを生かそう』が掲載されており、児童が自ら主体的に取り組むことで、思考力・判断力・表現力等を育成できるように工夫されている。</p> <p>○巻末に『〇年のまとめ』として、見開きで学習内容を見渡せるレイアウトになっており、習得した知識及び技能が掲載され、児童がいつでも振り返れるように工夫されている。</p> <p>○単元の中で、『〇年で学んだこと』の表記があり、下位学年の既習内容を踏まえて基礎の上に新たな基礎を築けるように配慮されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○文章は、児童の発達段階を考慮して、簡潔で分かりやすい表現が用いられている。</p> <p>○文節単位での改行、全面的なユニバーサルデザインフォントを使用し、カラーユニバーサルデザインを踏まえた配色などの工夫を行うことで、児童の学習上の困難さに配慮している。</p>

## 理科

発行者の略称	学図
書名	みんなと学ぶ 小学校 理科
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条に示されている「勤労を重んずる態度を養うこと」に関連して、学習内容と関わる暮らしや仕事の紹介を通して、理科の有用性を実感できるよう配慮されている。</p> <p>○学習指導要領で示されている「観察、実験などを行い、問題解決の力を養う」という資質・能力を育成するために、児童の直接体験が重視されており、自然の事物・現象について実感を伴った理解ができるよう工夫されている。</p>
内容と構成	<p>○単元構成は、導入の事象『問題をみつけよう』から始まる問題解決の過程を繰り返し学習することにより、自ら問題を見だし解決していく力が身につくよう工夫されている。</p> <p>○学年全体でつけていく資質・能力から、各単元の内容に適したものを3つずつ選んで単元冒頭の『理科モンスター』で示し、単元末で振り返ることで次の学びに生かしたり、生活へつなげていったりすることができるよう工夫されている。</p> <p>○豊富なデジタルコンテンツを掲載し、児童が必要に応じて学習で使えるよう配慮されている。</p> <p>○学習後に活用課題を設け、学んだことを使った説明活動を行うことで、児童が自己の学習状況を振り返り、意味まで深く理解できるよう構成されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○各学年における教材や観察、実験などの活動時間の分量が精選されており、標準授業時数内の学習で体験を重視しつつ、学習の深まりや発展、ものづくりなど多様な学習につなげるゆとりがある。</p> <p>○実験や観察の場面などで、効果的な伝え合いを示すために、図やグラフなどが具体的に表記されている。</p>

## 理科

発行者の略称	教出
書名	未来をひらく 小学理科
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条に示されている「幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い」に関連して、児童が主体的に問題を解決していく過程を示し、児童の真理を求める態度を養えるようになっている。</p> <p>○学習指導要領の「観察、実験などを行い、問題解決の力を養う」に関連して、児童が気づいたことを主体的に対話しながら問題を見出す場面を示すことで、対話的な活動を促し、問題解決ができるよう配慮されている。</p>
内容と構成	<p>○各学年の巻頭に、『自分たちの考えを伝えあい、学び合おう』を設け、自分の考えを伝え、相手の考えを聞くことの大切さを示している。また、『算数とのつながり』が明示されており、他教科との関連が図れるように工夫されている。</p> <p>○各単元末の『ふり返ろう』では、児童が学習前後の成長に重ね合わせて、自身の成長を実感できるように工夫されている。</p> <p>○実社会・実生活との関連を重視し、『科学のまど』などで学習内容と関連した事象を紹介し、学びの価値を実感できるよう工夫されている。</p> <p>○各学年の観察、実験で注意すべき器具や薬品の使い方などの主な具体的事項を『理科の安全の手引き』として掲載し、いつでも安全に留意して学習を進めることができるよう工夫されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○ユニバーサルデザインフォントの書体と、識別しやすい配色が用いられているため、紙面でも、デジタル画面でも見やすく読みやすい配慮がされている。</p> <p>○教科書の判型は、下にゆとりのあるA4変形判を採用し、学習の流れが見やすく、また児童の負担にならないように軽量化されている。</p>

## 理科

発行者の略称	啓林館
書名	わくわく理科
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条に関連して、単元内の『理科の広場』や『くらしとリンク』、巻末の『未来をひらくあなたへ』では、学習内容に関連した職業や人物を紹介したり、働く人のメッセージも紹介したりするなど、勤労を重んじる態度を養うよう配慮されている。</p> <p>○学習指導要領で示された「見通しをもって観察・実験を行うこと」に関連して、問題解決の流れを見える化した『学びのサイクルライン』では、図や写真を用いてわかりやすく示すことで、児童が見通しを持って、自ら観察・実験が行えるよう工夫されている。</p>
内容と構成	<p>○単元の導入の『思い出そう』で、既習事項を確認し、『はじめに考えよう』で日常経験を確認・共通理解したうえで、単元の学習にスムーズに入れるように工夫されている。</p> <p>○問題の前に、『問題をつかもう』が適宜設定されており、児童同士の話し合いから主体的に問題を見いだせるようにしている。また問題が児童の身近になるように会話形式で展開されている。</p> <p>○二次元コードやインタラクティブコンテンツなどの多様なコンテンツが豊富に用意され、1人1台端末のICT環境を効果的に教科の学びに活用できるよう工夫されている。</p> <p>○巻末の『W a C B T (ワクビット)』では、映像から情報を読み取り、問題に答えるC B Tコンテンツを体験するすることができ、読解力や情報活用能力の向上がはかれるよう工夫されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○UD、MUDが採用されており、レイアウトの工夫があり、わかりやすい言葉遣いで、行間が広く、文節改行もされており、全ての児童が学びやすいように配慮されている。</p> <p>○机上スペース内で取り扱いやすい大きさで、ヒトの目からの情報需容にも適した形状の、A B版(ワイド版)の判型となっている。</p>





## 生活科

### 総合資料

発行者略称	書名	総合所見
東書	どきどきわく わく 新編 あたらしいせ いかつ 上 あしたへジャ ンプ 新編 新しい生活 下	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元に設けられているコーナー『学びをふかめる』では、吹き出しなど対話的な学習例が提示され、写真や挿絵、作品例を具体的に示すことで、児童の主体性と「気づき」をうながす工夫がされている。</li> <li>・『ほんとうのおおきさいきものずかん』や、動画などにつながる二次元コードといったデジタルコンテンツが多く提示されているため、児童の知的好奇心を高める工夫がされている。</li> </ul>
大日本	新版 たのし いせいかつ 上 だいすき 新版 たのし いせいかつ 下 ひろがれ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領に示されている「思考力・判断力・表現力等」を図るために、話し合う、カードに書くなどの言語活動だけでなく、動作化や劇化などの多様な表現方法が例示され、児童の学ぶ意欲を高めている。</li> <li>・あえてモノクロの写真を使用することで、色への視点を投げかけ、想像する楽しさや、実際の色を見て知る楽しさを実感できる。児童の視点から、焦点化し、興味をもたせ、すぐに活動できるようになっている。</li> </ul>
学図	みんなとまな ぶ しょうが っこう せい かつ 上 みんなとまな ぶ しょうが っこう せい かつ 下	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元ごとの『ものしりノート』や『ものしり図かん』などの資料ページが充実しており、更に、単元末の『もっと』のページの配置により、児童が自分で活動を広げたり、学んだことを生かして意欲的に活動を持続・発展したりできるように工夫がされている。</li> <li>・ページの見開きをひとつの活動単位とし、活動の流れや思考の流れが分かり、見通しをもって学習を進めることができるようになっている。</li> </ul>
教出	せいかつ 上 みんな なか よし せいかつ 下 なかよし ひ ろがれ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の巻頭から巻末を道のようにつなぐ『はっけんロード』が記してあり、親しみやすいキャラクターや自分の思いに近い言葉を教科書から見つけることができるなど、様々なしかけが作られている。</li> <li>・巻末の『学びのポケット』では他教科との関連が明確に示されている。また、『理科への窓』、『社会への窓』などでも中学年以降への学びにつながる構成になっている。</li> </ul>

光村	せいかつたん けんたい 上 はじめてが いっぱい せいかつたん けんたい 下 はっけん だ いすき	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本のような構成で、イラストや言葉から様々な思考をうながす作りになっており、「思考力・判断力・表現力等」の育成を図る工夫がされている。</li> <li>・巻末に『きせつのなかまたち』『ひろがるせいかつじてん』などの別冊の資料が充実しており、屋外でも使用できるなど、児童の生活科への興味や楽しさを広げる工夫がされている。</li> </ul>
啓林館	わくわくせい かつ上 いきいきせい かつ下	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生きて働く「知識・技能」の習得のために、『学びのヒント』『こんなときどうしよう』等、おさえるべきポイントが明確になっており、整理されているので、教師は指導しやすく、児童が分かりやすいつくりになっている。</li> <li>・各単元のページ右下にある『めくり言葉』をきっかけに、児童の思いや願いを膨らませ、見通しをもって学習に取り組めるような工夫がされている。</li> </ul>

## 生活科

発行者の略称	東書
書名	どきどき わくわく 新編 あたらしい せいかつ 上 あしたへ ジャンプ 新編 新しい 生活 下
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条に示されている「主体的・対話的で深い学びの実現」に関連して、吹き出しなどの対話的な学習例で『学びをふかめる』活動が設定されている。</p> <p>○学習指導要領に示された知識及び技能の基礎としての「気づき」を育成するために、写真や挿絵、作品例が随所に具体的に示されている。</p>
内容と構成	<p>○幼児期の学びから小学校の学習への円滑な繋がりを図るため、各教科などの学びへと向かうスタートカリキュラムが『がっこうせいかつすたあと』にまとめられており、イメージをもちやすい。</p> <p>○『ほんとうのおおきさいきものずかん』などの図鑑が豊富に掲載されており、観察の気づきへの手立てが工夫されている。また、児童の知的好奇心を高めるためのデジタルコンテンツが豊富に設けられている。</p> <p>○カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮として、他教科等で身に付けた資質・能力を生活科の学習の中で生かす場面が具体的に例示されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○教科書がA4サイズで大きく、それに伴い、挿絵や写真、文字が大きく見やすくなっている。</p> <p>○デジタルコンテンツが多く、動画などにつながる二次元コードが随所に提示されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインのフォントで、全部の文字にルビがふってあり、絵の色も優しく、多様な児童に対応できる工夫がされている。</p>

## 生活科

発行者の略称	大日本
書名	新版 たのしいせいかつ 上 だいすき 新版 たのしいせいかつ 下 ひろがれ
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○学習指導要領に示されている「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るために、話し合う、カードに書くなどの言語活動だけでなく動作化や劇化などの多様な表現方法が例示されている。</p> <p>○教育基本法第2条に関連して、巻末に『がくしゅうどうぐぼこ』が掲載されており、幅広い知識と教養を身に付けられるように工夫されている。</p>
内容と構成	<p>○あえてモノクロの写真を使用することで、色への視点を投げかけている。児童は想像する楽しさや、実際の色を見て知る楽しさを実感できるようになっている。</p> <p>○「食」という児童にとって身近な生活場面から、野菜に対する興味関心を持たせ、家庭科との関連を図りながら、学習活動を進めることができるようになっている。</p> <p>○親しみやすいキャラクターが、児童の目線で疑問ややってみたいことを話しているので、興味をもたせることができ、かつ、内容が分かりやすく示されているので、すぐに活動に移ることができるようになっている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○A4版の紙面で植物が原寸大に表されている。</p> <p>○活動事例の写真が多く、児童が想像しやすい作りになっている。</p> <p>○小見出しが大きくて読みやすく、全体的にやわらかい表現・あたたかいイラストになっている。また、文が精選されていることで分かりやすく、明確な表記になっている。</p>

## 生活科

発行者の略称	学図
書名	みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 上 みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 下
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条に示されている「生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。」に関連して、栽培・飼育単元では、生命を尊重する心や、環境を大切にする心が育つように配慮されている。</p> <p>○学習指導要領に示されている「学習を通して、自ら自立し生活を豊かにするように配慮されているか。」に関連して、単元末に『もっと』のページが配置してあり、学んだことを生かして意欲的に活動を持続・発展できるようになっている。</p>
内容と構成	<p>○上下巻を通して成長していくキャラクターで、児童同士の関わりや一人ひとりの思いや悩みを明確にし、成長していく道筋が見えるようになっている。</p> <p>○ページの見開きをひとつの活動単位とし、活動や思考の流れが分かり、見通しをもって学習を進めることができるようになっている。</p> <p>○児童の主体的な活動を支援する『ものしりノート』や『ものしり図かん』などの資料ページが充実しており、児童が自分で活動を広げていけるように配慮されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○瞬間を切り取った臨場感あふれる写真で、児童の活動意欲を引き出すように配慮されている。</p> <p>○目次がカレンダーになっており、年間の見通しをもちやすい工夫がされている。</p> <p>○多様な色覚をもつ児童に配慮し、カラーユニバーサルの方え方に沿った、見やすく分かりやすい色使いが工夫されている。</p>

## 生活科

発行者の略称	教出
書名	せいかつ 上 みんな なかよし せいかつ 下 なかよし ひろがれ
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○学習指導要領における「生活科における見方・考え方を生かして育成する資質・能力」から、特に重点を置いて発揮すると効果的な『6つの力』が、各小単元にサイコロで示され、適切にわかりやすく表されている。</p> <p>○ICTを活用し、児童が主体的に学ぶことができるように工夫されており、「生きて働く知識・技能の習得」のための配慮がされている。</p>
内容と構成	<p>○学びのポケットでは他教科との関連が明確に示されている。また、『理科への窓』、『社会への窓』などでも他教科を意識した構成になっている。</p> <p>○二次元コードの充実で、児童が自分の端末で調べて活動することが個々のペースでできるようになっている。また、単元の導入の『わくわくすいっち』で意欲を高めることができるようになっている。</p> <p>○主体的・対話的な深い学びの実現が図られるように、単元の最後で『なにをかんじたかな』が設定され、自身の伝えたい方法を選べたり、自身の学びや変容を自覚したりする場面が設定されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○教科書の巻頭から巻末を道のようにつなぐ『はっけんロード』をキャラクターが進み、学習を捉えることができるようになっている。</p> <p>○単元最後の『もしも』のページで児童の興味をひくように工夫されている。</p> <p>○活動のきっかけとなるような言葉が大きく端的に表記されおり、児童が取り組みやすいよう工夫がされている。</p>

## 生活科

発行者の略称	光村
書名	せいかつ たんけんたい 上 はじめてが いっぱい せいかつ たんけんたい 下 はっけん だいすき
教育基本法・学校教 育法及び学習指導 要領等との関連	<p>○「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るために、絵本のような構成になっており、イラストや言葉から様々な想像や思考を促すつくりになっている。</p> <p>○学習指導要領で示された資質・能力を分析して設定された14の観点は、学習活動を思い出したり考えたりするときのヒントとなり、毎時間の振り返りが充実したものになるよう工夫されている。</p>
内容と構成	<p>○単元の締めくくりにある『たのしいまいにちにつなげよう』のページで、単元の学びを日常生活で生かしたり、生活を豊かにしたりするヒントが提示されている。</p> <p>○ヨシタケシンスケ氏のイラストと言葉で、親しみやすく一人ひとりの個性を認めるようなはたらきかけがなされている。</p> <p>○学び方のヒントが提示されており、児童の学習の手立てとなる工夫がされている。また『保護者のみなさまへ』で学習のねらいが明記されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○巻末に『きせつのなかまたち』『ひろがるせいかつじてん』などの別冊の資料が多くあり、屋外でも使用しやすくなっている。</p> <p>○ユニバーサルデザインの視点から色合い・肌触りがよい。また、写真の角が丸くてとてもやわらかい印象になっている。</p> <p>○単元のまとめのページでは、友達と対話して振り返ったり自分の言葉で表現したりする場面が示されており、丁寧に振り返りができるような工夫がされている。</p>

## 生活科

発行者の略称	啓林館
書名	わくわく せいかつ 上 いきいき せいかつ 下
教育基本法・学校教 育法及び学習指導 要領等との関連	<p>○「生きて働く知識・技能の習得」のために、『学びのヒント』『こんなときどうしよう』等、おさえるべきポイントが明確になっており、整理されているので身に付けやすい。</p> <p>○導入『わくわく』、活動『いきいき』、振り返り『ぐんぐん』の3段階で構成され、単元を通して「主体的・対話的で深い学び」が実現できるように工夫されている。</p>
内容と構成	<p>○音声や動画が豊富なデジタルコンテンツや、「びっくり図鑑L I V E」等が充実しており、発展的な内容が詳しく資料になっているため、個別の学びにも対応している。</p> <p>○『すたあとぶっく』と『ステップブック』で幼児期から3年生への学びの連続性をもたせている。</p> <p>○『めくり言葉』をきっかけに、児童の思いや願いを膨らませ、見通しをもって学習に取り組めるような工夫がされている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○横A4、縦B5サイズで、児童にとって手にとりやすい大きさであり、絵本のように見やすく、横に広がるダイナミックな紙面構成になっている。</p> <p>○教室環境・板書例等の掲載により、教師への授業サポートや、児童の学習の手助けとなる工夫がされている。</p> <p>○小単元名、本文、各種コーナーなどの位置は定位置に固定されており、児童に分かりやすい紙面になっている。</p>



## 音楽科

### 総合資料

発行者略称	書名	総合所見
教出	小学音楽 音楽のおくりもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育基本法第2条5号に関連し、我が国の伝統音楽や郷土で育まれてきた文化を、現代の児童が興味を持って理解し親しめるよう、豊富な写真や動画、生活に密着した資料などで紹介されている。</li> <li>・体を動かす活動や基本的技能の習熟に役立つ多彩な教材が、ワークシートや挿絵を交えてわかりやすく配置されている。</li> <li>・他教科や外国語活動との関連を意識した教材やコラムが掲載されている。また、他学年との縦の活動も考慮した教材が扱われている。</li> <li>・折り込みを使ったワイドな紙面で歌詞に忠実な美しい写真が掲載され、興味・関心を引く工夫がされている。</li> </ul>
教芸	小学生の音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育基本法第2条1号に関連し、音楽科の学習を通して、幅広い知識と教養が身に付けられるように、児童に身近なテーマで、音楽にまつわる特集やコラムが設けられている。</li> <li>・協働的な創作活動が充実しており、児童同士が対話しながら取り組めるよう工夫がなされている。</li> <li>・道徳や人権を意識した教材を取り入れ、学んだことが自分の人生や社会に生かせるよう工夫されている。</li> <li>・写真中の歌詞は背景を白にしたり配色を工夫したりすることで読みやすくするなど、ユニバーサルデザインが意識されている。</li> </ul>



## 音楽科

発行者の略称	教出
書名	小学音楽 音楽のおくりもの
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第3条及び学習指導要領・教科の目標に関連し、人生を豊かにし、音楽的な見方・考え方を働かせるために適した教材が幅広く、発達段階や系統性を考慮した配置で構成されている。</p> <p>○学習指導要領の「思考力、判断力、表現力等」の育成に関連して、児童が取り組みやすく考えが深化するよう、活動のポイントや流れ、音楽を表すいろいろな言葉』が示されている。</p> <p>○教育基本法第2条5号に関連し、我が国の伝統音楽や郷土で育まれてきた文化を、現代の児童が興味を持って理解し親しめるよう、豊富な写真や動画、生活に密着した資料などで紹介されている。</p>
内容と構成	<p>○『学習マップ』で学習内容の見通しが持てたり、『まなびナビ』などで、主体的に学習したりできるよう工夫されている。</p> <p>○体を動かす活動や基本的技能の習熟に役立つ多彩な教材が、ワークシートや挿絵を交えてやすく配置されている。</p> <p>○学習する題材に関連するページや発展的な活動が紹介されている。</p> <p>○現代の暮らしの中の歌い継がれてきた歌曲に通じる表現を紹介し、我が国の生活や文化に気づき、興味を持てるよう工夫されている。</p> <p>○他教科や外国語活動との関連を意識した教材やコラムが掲載されている。また、他学年との縦の活動も考慮した教材が扱われている。</p> <p>○二次元コードから、視聴覚機器を用いて楽曲の解説や模擬演奏を参照し、深い知識理解や技能の習熟に役立てるようになっている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○背景はシンプルで楽譜が大きく、色づかいや文字も見やすいユニバーサルデザインが取り入れられている。</p> <p>○折り込みを使ったワイドな紙面で歌詞に忠実な美しい写真が掲載され、児童の興味関心を引く工夫がされている。</p> <p>○シンプルな図やイラストで誰もが視覚的に理解しやすいデザインが取り入れられている。</p> <p>○多様な取り扱いに耐えられる堅牢な紙質や製本が意識されている。</p>

## 音楽科

発行者の略称	教芸
書名	小学生の音楽
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条1号に関連し、音楽科の学習を通して、幅広い知識と教養が身に付けられるように、児童に身近なテーマで、音楽にまつわる特集やコラムが設けられている。</p> <p>○教育基本法第2条3号に関連し、グループで学習を進める際に、自分の役割の自覚やそれを果たす責任感をもったり、協力する態度を養ったりすることができるように配慮されている。</p> <p>○学習指導要領の「知識及び技能」の習得に関して、自身の表現に対してもった思いや意図を実現するために役立つイラストや解説が、発達段階や学習の系統性を踏まえながら、適切に示されている。</p>
内容と構成	<p>○題材の提示からまとめまで一目で分かりやすく示されている。</p> <p>○協働的な創作活動が充実しており、児童同士が対話しながら取り組めるよう工夫がなされている。</p> <p>○伝統芸能や歌曲について丁寧なイラストや対訳で、文化的な背景や情景が理解できるよう配慮されている。</p> <p>○音楽と社会、音楽そのものについて考えを広げ深めるきっかけとなるコラムや口絵、演奏家のアドバイスなどが掲載されている。</p> <p>○道徳や人権を意識した教材を取り入れ、学んだことが自分の人生や社会に生かせるよう工夫されている。</p> <p>○二次元コードから、視聴覚機器を用いて楽曲の解説やシンプルな音源を参照し、深い知識理解や習熟に合わせた指導に活用できる。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○ページの周囲が題材ごとに色分けされ、まとめられている。</p> <p>○児童が親しみやすいキャラクターの表情やしぐさから、興味関心を引き出し、意欲を持って活動できるよう工夫されている。</p> <p>○写真中の歌詞は背景を白にしたり配色を工夫したりすることで読みやすくするなど、ユニバーサルデザインが意識されている。</p> <p>○何を、どのように学ぶかを観点ごとのマークを使ってより具体的にわかりやすく示されている。</p>

## 図画工作科

### 総合資料

発行者略称	書名	総合所見
開隆堂	図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育基本法第2条の内容に関連して、教科書の巻頭には、職業及び生活との関連を重視して、多様な人々が造形にかかわっている姿が取り上げられた構成となっている。</li> <li>・教育基本法第2条の内容に関連して、友達と協力して表現する活動では、互いのよさを感じ合える題材が掲載されている。</li> <li>・各題材が2ページ見開きで構成され、必要な情報がページの上下にまとめてあり、学習の流れが分かりやすくなっている。</li> <li>・文章の表記では、意味のまとまりごとに改行位置を工夫したり、掲載されている作品に番号が付いていたり、誰にでも分かり使いやすい工夫がされている。</li> </ul>
日文	図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育基本法第2条の内容に関連して、『材料と用具のひきだし』では、材料や用具の使い方を含む幅広い知識に加えて日本文化や日用品との関わりが掲載されている。</li> <li>・学習指導要領に関連して、表現と鑑賞を往還しながら学習できるように題材と鑑賞のページが連続した構成になっている。</li> <li>・『材料と用具のひきだし』では、発達段階に応じて、材料や用具の基本的な使い方が誰にでも分かりやすく示されている。</li> <li>・『図工のみかた』では、児童の発想や表現のヒントになる投げかけが、写真やイラストで分かりやすく掲載されている。</li> </ul>



## 図画工作科

発行者の略称	開隆堂
書名	図画工作
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条の内容に関連して、教科書の巻頭には、職業及び生活との関連を重視して、多様な人々が造形に関わっている姿が取り上げられた構成となっている。</p> <p>○教育基本法第2条の内容に関連して、友達と協力して表現する活動では、互いのよさを感じ合える題材が掲載されている。</p> <p>○学習指導要領で示されている3つの目標に対応したキャラクターが目標を明確にし、学習を深める支援となるように編集されている。</p> <p>○学習指導要領の教科の目標「造形的な見方・考え方」に関連して、『ひらめきショートチャレンジ』では、児童が短時間で発想の方法を学ぶことができるようになっている。</p>
内容と構成	<p>○各題材が2ページ見開きで構成され、必要な情報がページの上下にまとめてあり、学習の流れが分かりやすくなっている。</p> <p>○各題材には、二次元コードが掲載され、学習への意欲を喚起する動画など授業と連動して活用できるコンテンツが充実している。</p> <p>○『みんなのギャラリー』では、日本各地の伝統と文化に触れ、そのよさを十分に味わうように構成されている。</p> <p>○児童がさまざまな活動体験や材料経験を深め、自然を大切にし、環境の保全に寄与するような題材が設定されている。</p> <p>○各題材の紙面に、他教科での学習を生かしたり、関連付けたりした題材や事例が掲載され、教科横断的な学習への手立てが示されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○表紙の書名を形づくっている題字は、児童が使用する材料を用いて製作され、興味や関心を喚起する装丁となっている。</p> <p>○文章の表記では、意味のまとまりごとに改行位置を工夫したり、掲載されている作品に番号が付いていたり、誰にでも分かりやすい工夫がされている。</p>

## 図画工作科

発行者の略称	日文
書名	図画工作
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条の内容に関連して、『材料と用具のひきだし』では、材料や用具の使い方を含む幅広い知識に加えて日本文化や日用品との関わりが掲載されている。</p> <p>○学校教育法第31条第2項の内容に関連して、「資質・能力」の3つの柱に基づく『学習のめあて』が全題材に設定され、学習活動の見通しがもてるようなヒントや写真が掲載されている。</p> <p>○学習指導要領に関連して、表現と鑑賞を往還しながら学習できるように題材と鑑賞のページが連続した構成になっている。</p> <p>○学習指導要領に関連して、『広がる図工』では、児童の活動や学びが社会とつながっていることが紹介されている。</p>
内容と構成	<p>○『かたづけ』では、余った材料を保管しておくことなどを促し、日々の授業を通して限りある資源を大切に使う気持ちを育てられるように配慮されている。</p> <p>○豊富なデジタルコンテンツにより、資料映像を見るだけでなく、アプリを使って創造的な活動ができるよう工夫されている。</p> <p>○『材料と用具のひきだし』では、発達段階に応じて、材料や用具の基本的な使い方が誰にでも分かりやすく示されている。</p> <p>○『図工のみかた』では、児童の発想や表現のヒントになる投げかけが、写真やイラストで分かりやすく掲載されている。</p> <p>○児童の視点に立った具体的な作例や写真によって、活動のイメージを持ちやすく、意欲的に取り組める工夫がされている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○学習のめあてのマークや紙面上の配置、文字の背景色などユニバーサルデザインに基づいた見やすさを優先した表記となっている。</p> <p>○全ての学年で目次や教科書の使い方が見やすく、児童が教科書を活用しやすい表記となっている。</p>



## 家庭科

### 総合資料

発行者略称	書名	総合所見
東書	新編 新しい家庭科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領を基に、3ステップ『1 見つめよう』『2 計画しよう・実践しよう』『3 生活に生かそう・新しい課題を見つけよう』と段階をふんで問題解決的な学習が展開できるようになっている。</li> <li>・見開きで『成長の記録』を書くページがあり、ふりかえりに活用することができるように工夫されている。</li> <li>・もくじは5年生、6年生と学習の流れが分かるようになっていて見通しがもてる。5年生で8大題材、6年生で7大題材を扱う構成になっており、基礎・基本から応用へと系統的に配列されていることでより学習の充実を図ることができるようになっている。</li> <li>・デジタルコンテンツが充実しており、調べ学習に最適な『食品ずかん』等を使い、発展的な学習を行うこともできる。また左利きの基礎技能動画があり、確実に基礎・基本をおさえることができるようになっている。</li> </ul>
開隆堂	わたしたちの家庭科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領を基に、5年生では基礎・基本、6年生では発展的な学習を段階的に扱っており、2年間の系統性を意識したつくりになっている。また『1 気づく・見つける』『2 わかる・できる』『3 生かす・深める』の3ステップで問題解決学習ができるようになっている。</li> <li>・かながわ教育ビジョンにある「思いやる力」に関連し、外国の児童や車いすに乗った児童のキャラクターと写真を意図的に使用し、多様性が意識されている。</li> <li>・見開きのページで左から右へと手順が書かれている構成が統一されていて、調理やミシン等の学習の流れが分かりやすく構成されている。</li> <li>・単元の初めに「なぜ～するのだろう」とあり、課題設定しやすく目的意識をもって学習に取り組むことができるようになっている。</li> </ul>



## 家庭科

発行者の略称	東書
書名	新編 新しい家庭
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○学習指導要領に示された家庭科の見方・考え方を『家庭科の窓』として4つの観点で示しており、その観点を児童が意識できるように単元の初めのページに明記されている。</p> <p>○学習指導要領を基に、3ステップ『1見つめよう』『2計画しよう・実践しよう』『3生活に生かそう・新しい課題を見つけよう』と段階をふんで問題解決的な学習が展開できるようになっている。</p> <p>○かながわ教育ビジョンにある「たくましく生きる力」に関連し、消費生活と環境の内容を関連させて学習することができる。</p>
内容と構成	<p>○野菜等が実物と同じ大きさと掲載されており、巻末資料『いつもたしかめよう』の写真も大きく写し出されている。そのため、見やすく、児童にとって分かりやすくなっている。</p> <p>○意図的に話し合う活動が設定されているので、主体的・対話的で深い学びにつながるよう構成されている。</p> <p>○もくじは5年生、6年生と学習の流れが分かるようになっていて見通しがもてる。基礎・基本から応用へと系統的に配列されていることでより学習の充実を図ることができるよう工夫されている。</p> <p>○見開きで『成長の記録』を書くページがあり、ふりかえりに活用することができるようになっている。</p> <p>○調理のポイントなどが具体的に提示されており、情報量が充実している。また、ページの下の方に『メモ』が書かれており、豆知識として児童の新しい発見の手助けになるよう工夫されている。</p> <p>○コラム『プロに聞く』では家庭科に関連する職業の人へのインタビュー記事を掲載し、仕事や生活への興味が高まるようにしている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○5年生で8大題材、6年生で7大題材を扱う構成になっている。</p> <p>○デジタルコンテンツが充実しており、調べ学習に最適な『食品ずかん』等を使い、発展的な学習を行うことができる。</p> <p>○独自のフォントであるUD教科書体を用い、児童が読み間違いにくい工夫がされている。</p>

## 家庭科

発行者の略称	開隆堂
書名	わたしたちの家庭科
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○学習指導要領を基に、5年生では基礎・基本的なこと、6年生では発展的なことを段階的に学習する流れになっており、2年間の系統性を意識したつくりになっている。</p> <p>○学習指導要領に基づき、『1気づく・見つける』『2わかる・できる』『3生かす・深める』の3ステップで問題解決学習ができる。</p> <p>○かながわ教育ビジョンにある「思いやる力」に関連し、外国の児童や車いすに乗った児童のキャラクターと写真を意図的に使用し、多様性が意識されている。</p>
内容と構成	<p>○カリキュラムマネジメントの観点から他教科との関連が意識されており、『関連』のマークで分かりやすく掲載されている。</p> <p>○見開きのページで左から右へと手順が書かれている構成が統一されていて、調理やミシン等の学習の流れが分かりやすくなっている。</p> <p>○単元の初めに「なぜ～するのだろう」とあるので課題設定しやすく目的意識をもって学習に取り組むことができる。</p> <p>○教科書の巻末に中学校の学習との関連や『キャリアインタビュー』が掲載されており、中学校での学習や将来へどうつながっていくかの見通しがもてるようになっている。</p> <p>○『生活の中のプログラミング』では、炊飯器やロボット掃除機、全自動洗濯機のプログラミングについて紹介されており、時代に合った内容となっている。</p> <p>○『生活の課題と実せん例』が具体的に紹介されていて、長期休み等に児童が家庭で実践できるように工夫されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○『生活を見つめ、できることを増やしていこう』で11大題材、『工夫して生活に生かそう』で9大題材を扱う構成になっている。</p> <p>○二次元コードをタブレットで読み取り、児童それぞれが手元で動画を確認できるよう工夫されている。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインに関する配慮がなされ、児童が見やすい工夫がされている。</p>

## 体育科（保健）

### 総合資料

発行者略称	書名	総合所見
東書	新編 新しい保健	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各項が、『ステップ1 気づく・見つける』→『ステップ2 調べる・解決する』→『ステップ3 深める・伝える』→『ステップ4 まとめる・生かす』で構成されている。</li> <li>・ 児童の生活場면을想起させる写真やイラストを提示し、児童が身近な例から健康についての課題を見つけることができるように構成されている。</li> </ul>
大日本	新版 たのしい保健	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小中連携を意識し、発展的な学習内容として中学校で学習する内容などを示し、中学校の保健体育を学習する際に、小学校で学習した内容が円滑につながるよう工夫がされている。</li> <li>・ 外来語等はカタカナで表記し、漢字は原則的に、学習指導要領に示されている配当学年より1学年遅らせて使用している。</li> </ul>
大修館	新 小学校保健	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1人1台の端末環境下での学習活動をサポートできるように二次元コードが随所に掲載され、動画やウェブサイト、シミュレーションなどで詳しく学ぶことができる工夫が図られている。</li> <li>・ 学習指導要領の目標及び内容が漏れなく指導できるよう単元を配置し、1時間2ページを基本構成として教材の分量が適量になっている。</li> </ul>
文教社	新わたしたちの 保健	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 『もっと考えよう課』コーナーを設け、児童自身が学習により関心をもてるような情報が掲載されている。</li> <li>・ 学習したこと、理解したことを踏まえ、児童同士で考え伝え合うことで、より自信をもって、これからの生活や学習に向き合えるように『みんなで宣言しよう！』という宣言を記入できるページが設定されている。</li> </ul>

光文	小学保健	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元の学習過程を『1 自分の生活を振り返る』『2 学習の課題をつかむ』『3 課題解決に向けて学習活動をする』『4 学習をまとめる』『5 自分の生活に生かす』で構成されている。</li> <li>・他教科との関連をマークで示し、カリキュラムマネジメントの観点から教科横断的な指導に活用できるように配慮されている。</li> </ul>
学研	新・みんなの保健	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各項目に資料『ほけんのはこ』を設け、幅広い知識を身につけ、思考・判断・表現する力を養うことができるようにされている。</li> <li>・科学的な資料（『かがくの目』実験や拡大した写真などを中心とした資料）が設けられている。目に見えない事象を可視化することで、児童が科学的に理解・認識ができるように工夫されている。</li> </ul>

## 体育科（保健）

発行者の略称	東書
書名	新編 新しい保健
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教科書全体を通して、健康や安全についての幅広い知識と教養を身につけ、個人の価値の尊重や自主自律の精神、協力を重んずる態度を育みながら学習することができるよう取り扱われている。</p> <p>○教科書の冒頭部分から、健康についての課題を見つけ、その解決に向けた学習過程を通して、生涯にわたって心身の健康を保持増進するための資質・能力を育成できるような工夫がされている。</p>
内容と構成	<p>○各項が、『ステップ1 気づく・見つける』→『ステップ2 調べる・解決する』→『ステップ3 深める・伝える』→『ステップ4 まとめる・生かす』で構成されている。</p> <p>○児童の生活場面を想起させる写真やイラストを提示し、児童が身近な例から健康についての課題を見つけることができるように構成されている。</p> <p>○動画やシミュレーション、思考ツールなど、デジタルコンテンツが豊富に用意されており、教科書記載の二次元コードから端末を問わず簡単に使用できるようになっている。</p> <p>○他教科や保健の他学年の内容との関連が独自のマークとともに随所に示されており、既習事項を新たな学びに結び付けて、より深く思考する力が身につくように図られている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○学習当該学年の1学年上の漢字もふりがなつきで使用されている。また、ふりがなは初出だけでなく、必要な漢字すべてにつけられ、文章の読解の段階でつまづくことがないように配慮されている。</p> <p>○書き込みがしやすく、かつ、軽量で丈夫な用紙が使用されており、重量による児童の身体的負担の軽減に配慮されている。</p>

## 体育科（保健）

発行者の略称	大日本
書名	新版 たのしい保健
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教科書全体を通して、イラストなどで職業や活動について、性別に限らず他者を尊重し、協力し合うことができるように工夫がされている。</p> <p>○各小单元では、自分の生活を比較したり、関連付けたりするなど、課題について思考・判断した上で、教科書に記入したり、友達と伝え合ったりして表現することで、よりよい解決方法につながり、学びが深まる活動が設定されている。</p>
内容と構成	<p>○教科書全体を通して、自らの課題を発見し、主体的に取り組み、資料から読み取ったり児童同士で話し合ったりするなどの対話から思考を広げ、深い学びが実現できるように工夫されている。</p> <p>○毎時間、思考したことを記述し、対話や発表をして他者に伝えることで、思考から表現する力が育成される構成になっている。</p> <p>○小中連携を意識し、発展的な学習内容として中学校で学習する内容などを示し、中学校の保健体育を学習する際に、小学校で学習した内容が円滑につながるよう工夫がされている。</p> <p>○学習をより理解したり、広げたりすることができるよう、ホームページ上にウェブコンテンツを用意し、対応するページにマークを示している。また、各ページのタイトル横の二次元コードから関連するウェブコンテンツにアクセスできるよう構成されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○学習は必要かつ十分なものを取り上げ、資料や用語は過多にならないように、発達段階と学年に応じて精選されている。</p> <p>○外来語等はカタカナで表記し、漢字は原則的に、学習指導要領に示されている配当学年より1学年遅らせて使用している。</p>



## 体育科（保健）

発行者の略称	大修館
書名	新 小学校保健
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○課題を見つけ、解決に向けた学習過程を展開するために、各章に『章のとびら』、各項目に『課題をつかもう』『今日の課題』『まとめ 生かそう 伝えよう』を設け、課題解決学習を重視した紙面構成とし、真理を求める態度を養えるようになっている。</p> <p>○全体を通して健康や安全に関する多様なテーマを取り上げ、幅広い知識と教養を身に付けることができるように工夫されている。</p>
内容と構成	<p>○身近な生活の中から健康についての課題に目を向けさせる発問や、考えたことの記入スペースを設けていることで、思考力・判断力・表現力等が育成できるように工夫されている。</p> <p>○随所に他学年の保健の学習との関連や他教科との関連、体育との関連が示されている。</p> <p>○1人1台の端末環境下での学習活動をサポートできるように二次元コードが随所に掲載され、動画やウェブサイト、シミュレーションなどで詳しく学ぶことができる工夫が図られている。</p> <p>○各学習項目がシンプルな3ステップで構成されている。</p> <p>ステップ1 生活の中から課題をつかみ、学習の見通しをもつ          ステップ2 学習の課題を解決するための活動          ステップ3 学習をまとめる</p>
分量・装丁・表記等	<p>○学習指導要領に示された配当授業時間内で学習指導要領の目標及び内容が漏れなく指導できるよう単元を配置し、1時間2ページを基本構成として教材の分量が適量になっている。</p> <p>○児童が学びやすい教科書として、ユニバーサルデザインフォント、カラーユニバーサルデザインの配慮、男女や国籍、障害の有無に基づく差別や偏見につながることはないように配慮されている。</p>

## 体育科（保健）

発行者の略称	文教社
書名	新 わたしたちの保健
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○これからの人生がよりよいものになること、その目標に向かって自分自身の課題を見つけ、向上心を養い、明るく楽しい生活を営む態度が身につく紙面の構成になっている。例えば、4年生の『体の発育・発達』では、未来の自分に対して想像しやすいように写真が多く使われている。</p> <p>○2人の男女のキャラクターが会話をしながら学習を進めることによって、協力が大切であることを意識し、児童自身が身近な問題や、地域社会全体の課題を考えることができるようになっている。</p>
内容と構成	<p>○『もっと考えよう課』コーナーを設け、児童自身が学習に、より関心をもてるような情報が掲載されている。</p> <p>○各時間の終わりには、『もう一步先の自分へ』という記述欄を設けて、思考力・判断力・表現力を身につける工夫がなされている。</p> <p>○学習したこと、理解したことを踏まえ、児童同士で考え伝え合うことで、より自信をもって、これからの生活や学習に向き合えるように『みんなで宣言しよう！』という宣言を記入できるページが設定されている。</p> <p>○5年生の『心の健康』では、相手を理解するために寄り添うこと、一人ひとりの個性を尊重することの大切さについてまとめている。SDGs『5 ジェンダー平等を実現しよう』の観点を踏まえ、考え方や不安、悩みにも個人差があることが取り上げられている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○書体や文字の大きさは、ユニバーサルデザイン等の観点を鑑み、読みやすさ分かりやすさがある。</p> <p>○漢字は、原則として学習者の該当学年までに配当された教育漢字を使用し、新常用漢字についても実態に即して使用されている。</p>

## 体育科（保健）

発行者の略称	光文
書名	小学保健
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○学習指導領改訂の基本方針である「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進」に沿って、保健の「見方・考え方」を働かせ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成ができるように、学習過程が設定されている。</p> <p>○伝え合う活動を重視し、全単元において児童が思考・判断・表現したことを書くための記入欄が豊富に設けられている。</p>
内容と構成	<p>○保健の内容について、児童の発達段階や興味・関心に応じて身近な生活との関連を図り、日常生活での実践に結びつけることができるような活動が紹介されている。</p> <p>○各単元の学習過程が『1 自分の生活を振り返る』『2 学習の課題をつかむ』『3 課題解決に向けて学習活動をする』『4 学習をまとめる』『5 自分の生活に生かす』で構成されている。</p> <p>○様々な活動に従事する人々による解説『この人に聞く』や、地域の保健に関わる取り組みの様子を写した写真や資料を多く掲載し、地域社会との関わりを考えることができるようになっている。</p> <p>○他教科との関連をマークで示し、カリキュラムマネジメントの観点から教科横断的な指導に活用できるように配慮されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○専門用語と、当該学年配当漢字および当該学年以降に学習する漢字については、ふりがなを付け、児童が内容を把握しやすいよう配慮がなされている。</p> <p>○各単元の学習内容は必要かつ十分なものとなるように精選されている。学習内容以上に資料や知識を確認したい場合は、各単元に設定したデジタル資料で確認できるようになっている。</p>

## 体育科（保健）

発行者の略称	学研
書名	新・みんなの保健
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○主体的・対話的な活動を積極的に取り入れ、豊かな情操と道徳心を培うことができるようにしているとともに、身近な生活における健康についての課題が設定されている。</p> <p>○体の発育・発達や心の健康を学ぶことを通して、かけがえのない自分に気が付けるようにするとともに、教え合う、学び合う活動により、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるようになっている。</p>
内容と構成	<p>○各項目に資料『ほけんのはこ』を設け、幅広い知識を身につけ、思考・判断・表現する力を養うことができるようにされている。</p> <p>○各項目を『導入（課題をつかむ）』→『ピース①（自ら取り組む活動）』→『ピース②（対話的な活動）』→『ピース③（活用）』で構成し、主体的、協働的に学ぶ態度が育成されるとともに、個別の学びと協働的な学びが一体的になるよう構成されている。</p> <p>○科学的な資料（『かがくの目』実験や拡大した写真などを中心とした資料）を設けている。目に見えない事象を可視化することで、児童が科学的に理解・認識ができるように工夫されている。</p> <p>○登場人物が、進行役（ファシリテーター）となって学習を導く役割をし、児童が主体的に学習する新しい学び方が実現しやすいように工夫されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○本文で使用しているユニバーサルデザインフォントは、視認性が高く、文字の大きさは児童の発達段階を考慮して選定されている。</p> <p>○イラストは、学習内容を的確に表現するとともに、多様性に配慮している。写真は、資料性が高く、鮮明なものが掲載されている。</p>

## 外国語科

### 総合資料

発行者略称	書名	総合所見
東書	NEW HORIZON Elementary	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各 Unit の初めに自分の目標を設定することで、自発的に学ぶことができるようになっている。見通しを持ってスモールステップで各活動に取り組むことができるよう工夫されている。</li> <li>・各 Unit に設定されている『Over the Horizon』では、視野を世界へと広げることができるようになっている。</li> <li>・『My Picture Dictionary』が大判化となり、文字が見やすく単語を探しやすいように工夫されている。</li> </ul>
開隆堂	Junior Sunshine	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を図るために、ペアやグループでの言語活動が多く設定されていたり、音声や映像のデジタルコンテンツが豊富に用意されたりしている。</li> <li>・『CAN-DOチェック』で、単元ごとのゴールが一覧で確認でき、児童が1年間の見通しをもてる工夫がされている。</li> <li>・児童の興味関心を高めるために、単元の学習内容と他教科等、今日的な教育課題との関連が表示されている。</li> </ul>
三省堂	CROWN Jr.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Unit ごとに『HOP』→『STEP』→『JUMP』で構成されており、発表に向けて学習に取り組み、自分の考えや気持ちを表現する力が身につくよう工夫されている。</li> <li>・音声でインプットされた語彙表現をアウトプットした後に「読むこと」「書くこと」の活動に繋がっており、知識を身に付けやすい構成になっている。</li> <li>・イラストや写真が多く、大判（A4判）が採用されている。</li> </ul>
教出	ONE WORLD Smiles	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「聞くこと」「話すこと」を中心に、段階的に「読むこと」「書くこと」に進むよう構成されている。また、無理なくコミュニケーションをとる力が身につくように単元の作りが工夫されている。</li> <li>・他教科で学んだ物語や、日本の名所や名物が英語で紹介されており、他教科との関連が図られている。</li> <li>・シンプルな紙面構成と単元構成で、学習内容が分かりやすくなるように配慮されている。</li> </ul>

光村	Here We Go!	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各 Unit は、段階を踏んだ共通の構成になっており、基礎的な知識・技能の習得と活用から思考力・判断力・表現力を養う言語活動へといたる学習の手順がわかりやすい工夫がされている。</li> <li>・5領域の言語活動がバランスよく配置されている。</li> <li>・車椅子バスケットボールの選手が登場人物の中におり、個人の価値を尊重し、誰もが参画できる社会をつくろうとする姿勢を養うことができるよう構成されている。</li> </ul>
啓林館	Blue Sky elementary	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャンツは字幕付きで、音と文字を関連させて練習することができるように工夫され、言語活動に必要な表現を練習できる流れになっている。</li> <li>・「聞く」「話す」を繰り返しながらスモールステップで積み上げていくことができるように構成されている。</li> <li>・世界各地の小学生が話す英語を聞き、彼らの生活を知ることで、コミュニケーションに必要な見方・考え方を育てる工夫がされている。</li> </ul>

## 外国語科

発行者の略称	東書
書名	NEW HORIZON Elementary
教育基本法・学校教 育法及び学習指導 要領等との関連	<p>○教育基本法に示されている「生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度」に関連し、SDGsを意識して生き物や自然を大切にしたり、環境の保全を意識したりするような言語活動や題材が取り上げられている。</p> <p>○学習指導要領に示されている「コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力」を育成するために、言語材料を活用し、情報を整理するとともに、自分の考えなどを形成、再構築する活動が多く取り上げられている。</p>
内容と構成	<p>○各Unitの初めに自分の目標を設定することで、自発的に学ぶことができるようになってきている。見通しを持ってスモールステップで各活動に取り組むことができるよう工夫されている。</p> <p>○各Unitに設定されている『Over the Horizon』では、学習内容やテーマをもとに、視野を世界へと広げることができるようになってきている。また、『Digital Map』を活用して国際社会への興味関心を高められるよう工夫されている。</p> <p>○5年生の冒頭にある『Let's Start!』では、3・4年生で学んだ外国語活動での内容をふり返り、5・6年生の学習へつなげる活動が設定されている。</p> <p>○CAN-DOリストを『CAN-DOの樹』として示し、児童がイメージしやすいよう工夫されている。5・6年生を通じた学びを見通すことができ明確な到達点に向かって学習を進められるよう工夫されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○文字指導において、左利きの児童にもモデル字が見えるように配慮されている。</p> <p>○『My Picture Dictionary』が大判化となり、文字が見やすく単語を探しやすいように工夫されている。</p> <p>○4線の2段目が広く設定されていることで、大文字と小文字の書き分けがしやすくなっている。</p>

## 外国語科

発行者の略称	開隆堂
書名	Junior Sunshine
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法に示されている、伝統や文化の尊重と国際理解に関連して、我が国とは異なる文化や生活などを知る活動を通して、自国を含めた様々な文化への関心や理解を深められる教材が盛り込まれている。</p> <p>○学習指導要領に示されている「主体的に学習に取り組む態度」に関連して、自分の成長や課題を確かめながら学習に取り組む工夫がなされている。</p>
内容と構成	<p>○「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を図るために、ペアやグループでの言語活動が多く設定されていたり、音声や映像のデジタルコンテンツが豊富に用意されたりしている。</p> <p>○巻末にある『CAN-DOチェック』で、単元ごとのゴールが一覧で確認でき、児童が1年間の見通しをもって学習できるような工夫がされている。</p> <p>○単元のゴールが明確に設定されているとともに、単元内の学びのプロセスが確立されているため、児童が見通しを持ちながら安心して学習に取り組めるよう構成されている。</p> <p>○児童の興味関心を広げ、高めることができるよう、各Lessonの冒頭に、単元の学習内容と他教科等、今日的な教育課題との関連が表示されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○情報を読み取りやすくするため、判型をA4判にし、余白や行間にゆとりをもたせるようレイアウトされている。</p> <p>○児童の目から受ける刺激を和らげるために優しい色にするなど、色の配色やコントラストに工夫がされている。</p> <p>○文字学習の入門期に適した手書き書体が使用されていて、一文字一文字の形のみならず、単語にした時の文字のまとまりが捉えやすいようにデザインされている。</p>



## 外国語科

発行者の略称	三省堂
書名	CROWN Jr.
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法に示されている自律的な学習者を育てるという内容に関連して、児童が自分の目標を持ち、自分の気持ちや考えを表現する活動を通して、主体的な学びが行われるように構成されている。</p> <p>○学習指導要領に示されている「聞くこと、読むこと、話すこと（やり取り）、話すこと（発表）、書くこと」の言語活動がバランス良く配置されている。それぞれの授業が音声から文字へ、練習からコミュニケーション活動へとスムーズに構成されている。</p>
内容と構成	<p>○Unitごとに学習活動が『HOP』（見通しを持つ）→『STEP』（語句や表現を学ぶ）→『JUMP』（発表）で構成されている。児童がUnit末の発表に向けて、見通しをもって学習に取り組み、自分の考えや気持ちを表現する力を身に付けることができるよう工夫されている。</p> <p>○各Lessonが2～3Partから成り、各Partが見開きになっている。また、本時のめあてが明示されているので、児童が主体的に活動に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○各Lessonは音声でインプットされた語彙表現を十分にアウトプットした後に「読むこと」「書くこと」の活動に繋がる流れになっており、児童が知識を身に付けやすい構成になっている。</p> <p>○『Hello, World』では世界のスポーツや職業など、前後のレッスンと関連した内容を扱い、児童が世界への興味関心を高め、外国語の背景にある文化の理解を深めるきっかけをつくることができるよう構成されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○イラストや写真が多く、大判（A4判）が採用されている。</p> <p>○手書きがしやすいよう、ユニバーサルデザインに配慮したフォントが使用されている。</p> <p>○Lessonの活動は定位置に配置されており、全ての児童が安心して学習できる工夫がされている。</p>

## 外国語科

発行者の略称	教出
書名	ONE WORLD Smiles
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法に示された、伝統と文化への尊重と国際理解への寄与に関連した内容が充実しており、日本と世界の相違点や共通点を身近なこととして捉えることができるよう工夫されている。</p> <p>○学習指導要領に示されている「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」、「書くこと」の5領域に設定された目標をそれぞれ達成できるように内容が選択・配列されている。</p>
内容と構成	<p>○1 単元の中で「聞くこと」「話すこと」を中心に、段階的に「読むこと」「書くこと」に進むよう構成されている。また、児童に無理なくコミュニケーションをとる力が身に付くように単元の作りが工夫されている。</p> <p>○発達段階に応じた「書くこと」の学習が設定されており、段階的に文字を読んだり書いたりできるよう工夫されている。</p> <p>○他教科で学んだ物語が英文で紹介されていたり、日本の名所や名物が英語で紹介されたりしており、他教科との関連を図った題材が豊富に扱われている。</p> <p>○『World of Smiles』では、海外に暮らす同世代の子どもたちの生活の様子や実際に話している音声が入り、世界を身近に感じたり、文化の違いだけでなく共通点を見つけたりすることができるよう工夫されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○写真やイラストが多く、親しみやすい作りになっている。</p> <p>○児童の学習意欲を高めるものや音声や英文の内容の理解を助けるものなど、作品世界を生かし、児童の想像力を高める、イメージが豊かなものが掲載されている。</p> <p>○シンプルな紙面構成と単元構成で、学習内容が分かりやすくなるように配慮されている。</p>

## 外国語科

発行者の略称	光村
書名	Here We Go!
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○学校教育法第30条に示されている「基礎的な知識・技能の習得を図る」に関連して、『Hop!』『Step!』『Jump!』という段階を踏んだ各Unitの学習で基礎的な知識及び技能を着実に習得できる工夫がされている。</p> <p>○学習指導要領に示された「相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。」に関連して、コミュニケーションでは相手意識をもつことが大切であることを示すなど、相手に配慮する態度が養えるよう構成されている。</p>
内容と構成	<p>○各Unitは、『Hop!』→『Step 1』→『Step 2』→『Jump!』からなりそれぞれが見開き1ページで共通の構成になっており、基礎的な知識・技能の習得と活用から思考力・判断力・表現力を養う言語活動へといたる学習の手順がわかりやすい工夫がされている。</p> <p>○5領域の言語活動がバランスよく配置されている。また、各Unitやまとめには、主な活動の内容となる領域が視覚的にわかりやすく示されている。</p> <p>○『世界の友達』では、世界各国の小学生の日常が紹介されており、その国の生活や文化への理解を深められるよう工夫されている。</p> <p>○5年Unit 5と6では車椅子バスケットボールの選手が登場人物の兄として登場する。個人の価値を尊重し、誰もが参画できる社会をつくらうとする姿勢を養うことができるよう構成されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○カラーユニバーサルデザインや特別支援教育の専門家の校閲を受けたことが明記されており、様々な特性をもつ児童にも十分に配慮がされている。</p> <p>○4線の2段目を広くしていることで大文字と小文字の書き分けがしやすい工夫がされている。</p> <p>○各Unitにオリジナルのチャンツが用意されており、児童が楽しみながら、学習に取り組めるよう構成されている。</p>

## 外国語科

発行者の略称	啓林館
書名	Blue Sky elementary
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法に示されている「我が国の郷土を愛するとともに他国を尊重」に関連し、日本の魅力を発信する活動を通して自国に対する理解を深めるとともに、世界の人たちの生活や文化を知り、他国のことを理解・尊重する心を育む工夫がされている。</p> <p>○学習指導要領に示されている「実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付ける」ために、語句や表現に慣れ親しみ、「知識及び技能」の定着を図れるよう工夫がされている。</p>
内容と構成	<p>○各Unitに3つのStepを設け、「聞く」「話す」を繰り返しながらスモールステップで積み上げていくことができるように構成されている。</p> <p>○チャンツは字幕付きで、音と文字を関連させて練習することができるよう工夫がされている。「話すこと[やり取り]」の活動に必要な表現をチャンツで練習し、言語活動で活用できる流れになっている。</p> <p>○『Let's Read and Write』では、アルファベットの読み方、書き方に加え、文字と音の関係について学ぶことができるよう構成されている。</p> <p>○『Friends around the World』では、世界各地の小学生が話す英語を聞き、彼らの生活を知ることができる。異文化理解を促し、コミュニケーションに必要な見方・考え方を育てる工夫がされている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○「ユニバーサルデザインフォント」が使用されており、識別しやすい。</p> <p>○年間配当時数が、余裕をもって指導できるよう配慮されており、必要に応じて教科書外の応用的な活動も取り入れられるようになっている。</p> <p>○行間にゆとりがあったり、各活動の見出しが分かりやすかったりと児童にとって見やすい工夫がされている。</p>

## 道徳科

### 総合資料

発行者略称	書名	総合所見
東書	新編 新しい道徳	<p>○かながわ教育ビジョンに示されている「人づくりの段階と目標」に関連して、全学年でいじめ問題に関わる教材が3つ用意されており、多面的・多角的に考えられるように工夫されている。</p> <p>○全学年で情報モラルに関する教材が用意されており、道徳的価値と関連させながら系統的に情報活用能力を身に付けられるように構成されている。</p>
教出	小学道徳 はばたこう明日へ	<p>○児童の理解が深まる構成に関して、学習内容に関連する映像や写真等を見ることができる『まなびリンク』という二次元コードが掲載されている。</p> <p>○主体的・対話的で深い学びに関して、教材名の下部に導入に関する発問が記載されており、児童における学びの視点が揃うよう配慮されている。</p>
光村	道徳 きみが いちばん ひかるとき	<p>○学びの視点やめあてが示され、さらに問いが段階を追って構成されていて、児童が1時間の見通しをもって学ぶことができるように工夫されている。</p> <p>○いじめ問題や情報モラル、環境問題等の現代的な課題について、「教材+コラム」で構成したユニットで共感的に学べるように工夫されている。</p>
日文	小学道徳 生きる力 道徳ノート	<p>○別冊の道徳ノートがあり、心に残っていることを記述し自分の考えや行動を振り返る学習活動が設定されている。学期ごとの振り返りページもあり、学期始めからの自身の変容への気づきを促すことができる構成になっている。</p> <p>○話し合いを行うことが効果的な教材のあとに、『ぐっと深める』が掲載されており、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう工夫されている。</p>

<p>光文</p>	<p>小学道徳 ゆたかな心</p>	<p>○かながわ教育ビジョンに示された「思いやる力」について、複数の教材と関連づけて、いじめ・人権を考える学習活動がユニット『いじめを生まない心』で設定されている。</p> <p>○多面的・多角的に考えを深めることができるよう、発達段階によって異なる思考ツールを示した『いろいろなやり方で考えてみよう』が掲載されている。</p>
<p>学研</p>	<p>新版 みんなの道徳</p>	<p>○巻末にある『つなげよう ひろげよう』の中で、1年間の学びや自らの成長の振り返りを行い、課題や目標を見つける学習活動が設定されている。</p> <p>○最重点テーマをいのちとし、3本のユニットで構成されている。議論のテーマ例を『深めよう・自分の進む道は自分で決める』で示すなど、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えられるように工夫している。</p>

## 道徳科

発行者の略称	東書
書名	新編 新しい道徳
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条第1号に示されている「豊かな情操と道徳心を培う」に関連して、道徳的諸価値について考えることができる問いが『考えよう』として掲載されており、内容項目と各教材の対応一覧表が掲載されている。</p> <p>○かながわ教育ビジョンに示されている「人づくりの段階と目標」に関連して、全学年でいじめ問題に関わる教材が3つ用意されており、多面的・多角的に考えられるように工夫されている。</p>
内容と構成	<p>○全学年に学びを振り返り、これからの生活に生かしたいことを書く学習活動が巻末に設定され、自己を見つめ、学びを深められるように構成されている。</p> <p>○各教材の終わりには、道徳的価値に迫ることができる問いが2つに精選され、道徳的価値についてよく理解し、自己の生き方について考えをより深めることができるようにしている。</p> <p>○全学年で情報モラルに関する教材が用意されており、道徳的価値と関連させながら系統的に情報活用能力を身に付けられるように構成されている。</p> <p>○障がい者との関わりや、ダイバーシティのための取り組みなどを扱った教材が用意され、人権や福祉など「あらゆる人が幸福に生きること」についての考えが深められるように構成されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○22の内容項目を含む、35時間の主たる教材が用意され、多種多様なテーマや形式が偏りなく掲載されている。</p> <p>○ダイナミックな挿絵や写真を掲載したり、書体や改行、カラーデザインへの配慮を行ったりして、全ての児童が情報を読み取りやすくなるように配慮されている。</p>

## 道徳科

発行者の略称	教出
書名	小学道徳 はばたこう明日へ
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条第1号に示されている「豊かな情操と道徳心を培う」に関連して、内容項目バランスよく配置されていたり、議論による知識の深まりが得られたりするよう各教材の最後のページには『考えよう・話し合おう』が掲載されている。</p> <p>○かながわ教育ビジョンに示されている「人づくりの段階と目標」に関連し、〔思いやる力〕の「人権教育」やいじめ・いのちについて考える学習として、『いじめをなくす』というユニットがある。</p>
内容と構成	<p>○振り返りに関して、巻末ページに心に残った教材または1年間での自己の成長・これからの生活に生かしたいことを書き残すことができるようになっている。</p> <p>○児童の理解が深まる構成に関して、学習内容に関連する映像や写真等を見ることができる『まなびリンク』という二次元コードが掲載されている。</p> <p>○主体的・対話的で深い学びに関して、教材名の下部に導入に関する発問が記載されており、教材における学びの視点が揃うよう配慮されている。</p> <p>○言語能力の育成に関して、『道徳ではこんな学び方をするよ』を例に、話し合いや役割演技の仕方等、言語活動の進め方について具体的に示されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○22の内容項目を含む、30の主たる教材が掲載されている。また『補充の教材』が複数掲載されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインへの取り組みに関して、UDフォント、判別しやすい配色や表現方法を採用している。また、分かち書きや文節改行を行い、読みやすくなるよう工夫されている。</p>



## 道徳科

発行者の略称	光村
書名	道徳 きみが いちばん ひかるとき
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法に示されている「生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと」に関連して、全学年で生命の尊さを扱い、実感を伴ってかけがえのない命を大切にしようという心を育む工夫をしている。</p> <p>○かながわ教育ビジョンとの関連において、[思いやる力]の「人権教育」について、人権に対する意識を高め、いじめや差別を許さない心を育めるよう、児童にとって身近な教材を用意している。</p>
内容と構成	<p>○児童が学びの全体像や1年間の学びを見通せるように工夫されている。また、学年に応じてシールや記述で1時間ごとの学びを振り返ることができるような構成になっている。</p> <p>○学びの視点やめあてが示され、さらに問いが段階を追って構成されていて、児童が1時間の見通しをもって学ぶことができるように工夫されている。</p> <p>○いじめ問題や情報モラル、環境問題等の現代的な課題について、「教材＋コラム」で構成したユニットで共感的に学べるように工夫されている。</p> <p>○児童が「教材」との対話、「自分」との対話、「友だち」との対話を意識し、教材に描かれた出来事を自分のこととして捉え、より主体的に学びに取り組めるように工夫されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○児童の発達段階を考慮し、6年間で児童が広い視野でさまざまな話題に触れられるよう、多種多様な題材や形式がバランスよく配置されており、適切な分量になっている。</p> <p>○児童が教材の内容を把握することに負担を感じないよう、紙面の色使いや文字の大きさ、読みづらい漢字には振り仮名を付けるなど、ユニバーサルデザインの観点から見ても配慮がされている。</p>

## 道徳科

発行者の略称	日文
書名	小学道徳 生きる力 道徳ノート
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○学習指導要領に示された「知識及び技能」の習得について『どうとくのとびら』で学習内容やそのねらいを示し、道徳的価値と関連づけて理解を促すと共に、各教材にマークと道徳的諸価値を示している。</p> <p>○かながわ教育ビジョンに示された[思いやる力]に関連して、「いじめ問題」が重点化されており、年3回のいじめ防止ユニットが設定されている。</p>
内容と構成	<p>○別冊の道徳ノートがあり、心に残っていることを記述し自分の考えや行動を振り返る学習活動が設定されている。また、学期ごとの振り返りページもあり、学期始めからの自身の変容への気づきを促すことができる構成になっている。</p> <p>○児童の理解が深まる構成について、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。また、道徳ノートもタブレットで入力することができ、活用の幅を広げられる構成となっている。</p> <p>○話し合いを行うことが効果的な教材のあとに、『ぐっと深める』が掲載されており、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう工夫されている。</p> <p>○道徳的価値をより深く、多面的・多角的に考えることができるよう、いじめ・情報モラル・SDGs・多文化共生・自己肯定感の5つのテーマで、『心のベンチ』を掲載している。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○22の内容項目を含む、35時間の主たる教材が掲載され、全学年に重点項目として複数の教材が定められている。</p> <p>○すべての児童が等しく学べるように、UDフォントの使用、行間を広げる、当該学年以上の漢字にふりがなをつける、カラーユニバーサルデザイン等の工夫がされている。</p>

## 道徳科

発行者の略称	光文
書名	小学道徳 ゆたかな心
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○学習指導要領に示されている「知識及び技能」の習得について、道徳的価値について理解を深めるために、教材ごとに『ひろげよう』という発展的な問いが掲載され、各教材にアイコンと併せて道徳的価値を示している。</p> <p>○かながわ教育ビジョンに示された〔思いやる力〕について、複数の教材と関連づけて、いじめ・人権を考える学習活動がユニット『いじめを生まない心』で設定されている。</p>
内容と構成	<p>○顔の表情や矢印で気持ちを表したり、ひとことを書いたりする『学びの足あと』を設け、自らの学びを振り返ることができるよう構成されている。</p> <p>○児童の理解が深まる構成について、第6学年『棚田と人をつなぐ』などに示されているように、動画や関連するWebサイトへのリンクなどにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>○多面的・多角的に考えを深めることができるよう、発達段階によって異なる思考ツールを示した『いろいろなやり方で考えてみよう』が掲載されている。</p> <p>○道徳的な課題を自分自身の問題として考えられるように、教材の最後には『かんがえよう』などの問いが設定され、自分自身と向き合えるように工夫されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○22の内容項目を含む、35時間の主たる教材が掲載されている。『付録』として複数の教材が掲載されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザインを使ったり、適度に行間を空けたりして、すべての児童が使いやすいように工夫されている。</p>

## 道徳科

発行者の略称	学研
書名	新版 みんなの道徳
教育基本法・学校教 育法及び学習指導 要領等との関連	<p>○学習指導要領に示された「知識及び技能」の習得について、道徳的諸価値の理解を深めるため『四つの視点マーク』や『現代的課題マーク』を用いて、分かりやすく目次や教材のタイトルの上下に配置されている。</p> <p>○かながわ教育ビジョンが示す〔思いやる力〕の「人権教育」について、いじめ防止に関連する教材とコラム『心のパスポート』を関連付け、いじめ問題について考える学習活動が設定されている。</p>
内容と構成	<p>○「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、巻末にある『つなげよう ひろげよう』の中で、1年間の学びや自らの成長の振り返りを行い、課題や目標を見つける学習活動が設定されている。</p> <p>○1人1台端末を活用できる学習活動が『カラフルな工夫』（6年生）に示されるように、動画などにつながる二次元コードが掲載されており、児童の理解が深まるよう構成が工夫されている。</p> <p>○各教科などの関連した教材として、総合的な学習の時間と関連した『チョモランマ清掃登山隊』（6年生）、生活科と関連した『あかるいあいさつ』（1年生）などが掲載されている</p> <p>○最重点テーマをいのちとし、3本のユニットで構成されている。議論のテーマ例を『深めよう・自分の進む道は自分で決める』で示すなど、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えられるように工夫している。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○22の内容項目（低学年19、中学年20）を含む35（第1学年のみ34）の主たる教材が掲載されている。</p> <p>○環境に配慮した紙、インキ、印刷方式を使用し、行間が広く、必要な箇所にはルビをふるなど、全ての児童が情報を読み取りやすくなるように配慮されている。</p>



